03 観光・情報発信

北海道　せたな町　樋口　恭子

～北海道本土最西端の魅力を発信～

観光・情報発信

基本情報



【年　齢】
５２歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
広告営業など
【活動時期】
Ｒ５.10～
３年目

協力隊に応募したきっかけ

知人を訪ねて昨年の春に初めてせたな町に来ました。風車と夕日の風景に魅せられ、夏に1ヶ月お試し暮らし住宅の体験をしました。縁あって、三本杉海水浴場の海の家や、タマネギ農家さんでのバイトを経験し、町の皆さまとの交流を持つことができました。自然の魅力以外に、町民の方々の優しさにも触れ、すっかり、せたな町が好きになりました。
そして、地域おこし協力隊の募集を知り、思い切って募集したところ、採用して頂くことになりました。

今後の抱負・任期後の目標

参加した全ての人が楽しめる三大祭りやイベントの成功。
せたな町の魅力、イベントやグルメ、観光などの情報をSNSやせたな観光協会のHPを活用して配信し、せたな町への集客に繋げていきたい。物産展などのせたな町PRの為の催事要員として活躍していきたい。
飲食店や商店など、地域活性化を目的とした営業支援（販促のお手伝い）等を展開していきたい。町民の皆さまと交流を持ちながら、任期満了後はこの経験を活かし、せたな町でお店を出し、町内の魅力を発信していきたい。

せたな町三大祭り実行委員活動

●「せたな町三大まつり」の実行委員としての運営業務

・玉川公園水仙まつり(北檜山区)　開催日４/26
・わっためがして大成(大成区)　開催日7/26
・せたな漁火まつり(瀬棚区)　開催日8/2
企画発案から運営準備、当日の進行、後片付け等
※PR活動：ポスター作成(立案、制作、配布まで)
SNS、SETAnavi(せたな観光協会HP)配信

多くの来場者が来て下さり、町内のイベントは大盛況に終わりました！





作成したポスター

観光協会発信のイベント開催・運営

●せたフォトコンテスト
・立案から準備、開催、PR活動など
ポスター作成(立案、制作、配布まで)
SNS、SETAnavi(せたな観光協会HP)でPR
・イベント終了後は審査会を開き入選者選出
特産品手配、配送など

●セタウマぃ店グルメスタンプラリー
・立案から準備、開催、PR活動など
ポスター作成(立案、制作、配布)
SNS、SETAnavi(せたな観光協会HP)でPR





作成したポスター

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））higuchi@setanavi.jp
（電話番号（職場））0137-84-5111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
◇観光協会HP　　http://setanavi.jp/
◇観光協会Twitter https://twitter.com/matasetana_0901

北海道蘭越町　森脇　大

観光・情報発信

～　蘭越ブランドを、世界へ。　～

基本情報



【年　齢】
５５歳
【出身地】
山口県周南市
【転出元】
広島県広島市
【前　職】
㈱広島ホームテレビ
【活動時期】
R5．4～活動中（３年目）

協力隊に応募したきっかけ

主業務の「地域ブランディングや付随するストーリー構築、情報発信などを通じて商店街を盛り上げること」は、前職（民放局）での知見が生かせる業務内容であったことと、
エゾ鹿革を使った高級レザージャケットブランドの起業という自身の目的が果たせる地域環境であり、出向先母体が商工会であったために、起業に際してのサポートや情報の入手、商工経済分野でのネットワーキングに最適な環境と考えた為です。

今後の抱負･任期後の目標

ファンマーケティングの切り口で蘭越町の商工観光のスモールウィンを獲得することです。個人では、着任後に興したエゾシカレザージャケットブランド“Yuku Deer Leather Wears”の事業を前進させ、域内最高の日本ブランドになることです。
https://www.ydlw.jp/?srsltid=AfmBOopua1XTo9lPPnm4Iow23PGeSIQl1JJsZw8seADH6bSGXpABdpl6

活動内容

●活動内容【商工を中心とした情報発信業務】

インスタグラムフォロワー1600（１１/4現在・着任時比190%）とフェイスブックに、週に２回以上、商工にかかわる様々な動画発信をしています。フォロワー拡大と同時にフォロー外からの接触を増やすため、FMラジオでレギュラー番組を開始し、発信メディアの拡大も図っています！



●活動内容【ファンイベントを起点とした来町動機の創出】

域内にコアなファンの多い水平対向エンジン車オーナーに着目しファンミーティングを企画実施、聖地化を狙い、側面から中心市街地への誘客導線を設計しています。
小イベントの複数開催を起点に、来町動機を創出し、参加賞ポイントによって中心市街地で消費を促し、活性化を設計実施中です。



●活動内容【並行進行中のエゾシカレザーブランド起業】

私の興したYuku Deer Leather Wearsは、北海道で駆除されたエゾシカから国内最高峰の鹿革を産み出し、魅力的なレザージャケットとして製造販売し、鹿革の廃棄を限りなくゼロに近づけることを目指しています。ターゲットは、ニセコへのインバウンド旅行者で、主に富裕層をターゲティングしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（公式無し・個人）dmoriwaki@shokokai.hokkaido.jp
yuku.dmoriwaki@ydlw.jp
（電話番号（職場）　）0136-55-6814
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/rankoshi_chiikiokoshi/#
https://www.instagram.com/yuku_deer_leather_wears/#

北海道浦河町　小室　祐紀

観光・情報発信

～　浦河の観光資源の掘り起こし、新たな価値を創出する人材　～

基本情報



【年　齢】
50歳
【出身地】
宮城県仙台市
【転出元】
北海道帯広市
【前　職】
介護
【活動時期】
R6.9～R9.8

協力隊に応募したきっかけ

地域の人たちと一緒に地域貢献したい気持ちがあり、浦河町ではやりたいことができるのではないかと感じ応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

退任後は浦河町でゲストハウスを開業する予定で活動を展開しており、ユニバーサルツーリズムの普及や新しいお土産の開発にも取り組んでいます。

活動内容

●交流スペース・ゲストハウスの開業

浦河町の大通地区に交流スペース兼ゲストハウスを作りたいと思い、これから具体的に活動を行っていく予定です。



●ユニバーサルツーリズムの普及

今年の6月にセミナーを開催し、10月には浦河町の優駿ビレッジAERUにて、観光介助士資格取得講習を開催しました。どちらも大勢の方に参加していただきました。



●新しいお土産の開発

現在「ちょこうーま」という名前でペン立て・カード立て・置物を１つ１つ手作りで作成し、優駿ビレッジAERUと観光協会での販売や、イベント時にはワークショップなどを行っています。機会がありましたら手に取って頂けたら嬉しく思います。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））urakawahonpo@gmail.com
（電話番号（個人））080-2512-1185

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（浦河町地域おこし協力隊Facebook）https://www.facebook.com/urakawa.chiikiokoshi

岩手県軽米町　安達　隆行

観光・情報発信

～ 町の魅力を世界へ！ 繋がり広がる町おこし ～

基本情報



【年齢】
42歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
神奈川県相模原市
【前　職】
会社役員
【活動時期】
R6.5～

協力隊に応募したきっかけ

小さな頃から岩手県が好きで頻繁に訪れており、いつか移住したいとずっと考えていました。転職のタイミングで協力隊の制度を知り、岩手県移住の夢に挑むチャンスだと思い、募集を探しました。活動を行うなら、土地の魅力を多くの人に知ってもらえる発信がしたいと思っていたところ、軽米町の「魅力発見・発信者の募集」を見つけました。軽米町は何度か旅行で訪れたことがあり、素朴な魅力に溢れる素敵な町だと感じていたので、この町の魅力を多くの人に知ってもらいたいと思い、応募に至りました。

今後の抱負・任期後の目標

着任２年目となる本年は、町の商工会青年部への加入をきっかけに、地域との繋がりが更に深くなりました。
祭りや商工会行事に参加することで、町内だけでなく近隣地域との交流も盛んになり、仕事のお声がけをいただく機会も増えています。

今後も、今まで以上に人と人の繋がりを大切にし、任期満了後も町に残って生活がしていけるよう、地域の一員として受け入れていただける存在になることを目指してがんばりたいと思います。

活動内容

●特産品を使った新商品の開発・流通

特産品「さるなし」を使った新商品開発として、花巻市に本店を構える(株)岩手阿部製粉「芽吹き屋」と連携し、さるなし味の新作お菓子を販売しました。町内だけでなく県内数店舗での販売やオンラインショップでの販売を開始し、次年度には生協にて全国販売を展開する予定です。



●イベント企画運営・販促物製作

地域活性化と町外集客による関係人口増加を図るべく、町の内外から事業者を集めたフードイベント「KARUMAI TOWN Sweets Festa!」や「のど自慢大会」等を企画・開催しました。また、イベント販促物のデザイン制作や、SNSを使ったPRや、地域ラジオに出演してのPRにも取り組みました。



●町の公式キャラクターPR活動

町の知名度向上のため、町の公式キャラクター「ヒエポン」の着ぐるみを来てイベント出演する機会を増やし、積極的にPRに取り組んでいます。姉妹町である北海道音更町のイベントや、隣接市で開催された地域キャラを集めたイベント等に参加し、参加者と一緒に写真撮影をしてのPRに努めました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
軽米町役場政策推進課　019-546-2115
（メールアドレス(個人)）karumai.adachi@gmail.com
（電話番号(個人)）090-2118-6425

※顔写真のSNS媒体掲載時は必ずご一報ください

岩手県一戸町　ロペス・ルアン＝セバスチャン

観光・情報発信

～　世界と岩手を結ぶ、文化と人の架け橋　～

基本情報



【年　齢】
31歳
【出身地】
コロンビア・ボゴタ市
【転出元】
岩手県盛岡市
【前　職】
Meta (Facebook)技術サポート（ポルトガル語・英語・スペイン語）
【活動時期】
R7.4月～

協力隊に応募したきっかけ

日本で盛岡に日本語を学び・暮らすなかで、岩手の自然美や山の文化、人々の温かさに深く感銘を受けました。出身地（ボゴタ）と通じる山の風景や暮らしに親近感を覚え、こうした魅力を国内外へ伝え、観光や国際交流を通して地域活性化に貢献したいと考え、地域おこし協力隊に応募しました。多言語の経験を活かし、英語・スペイン語・ポルトガル語・日本語の4言語で情報発信や交流支援を行うことで、地域の魅力を海外にも届く形で発信したいです。

今後の抱負･任期後の目標

任期中は日本語能力をさらに高めながら、特に「県北いわて／山のいわて」の魅力を掘り起こして発信します。持続可能なエコツーリズムや地域ブランドの構築に寄与したいと考えています。また、音楽や祭り、若者向けイベントの企画・運営を通じて、地域に新しい交流の場を作り、移住や観光のきっかけを増やすことを目指します。将来的には、北いわてエリアの魅力発信や、若者・クリエイターを呼び込むイベント運営にも携わりたいと考えています。

活動内容

●地域の魅力発信と観光プロモーション

四季の風景や文化はブログ・動画・ポッドキャストなどを通じて国内外へ情報を発信し、地域の魅力を国際的な視点で紹介。観光資源の可能性を探り、将来的には英語・スペイン語・ポルトガル語対応の外国人向けガイドツアー企画を目指しています。



●多文化交流とインバウンド支援

祭りや地域イベントに参加し、商工観光課のスタッフとして地域活動をサポート。外国人と地域住民のつながりを広げるため、文化紹介や多言語発信を行い、国際交流のきっかけづくりに努めています。外国人対応の観光案内資料や情報発信の多言語化にも引き続き協力しています。



●地域資源を活かしたプロジェクト企画

消防団や三味線グループに参加し、地域の一員として活動。音楽や文化を通して人とのつながりを深め、将来的には若者や外国人も楽しめるイベントづくりを目指しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（職場）　machi@town.ichinohe.iwate.jp
電話番号（職場）　0195-33-4851
HP/ブログ　https://www.Luaninjapan.com
Facebook　https://www.facebook.com/Luaninjapan
Instagram　https://www.instagram.com/Luaninjapan/

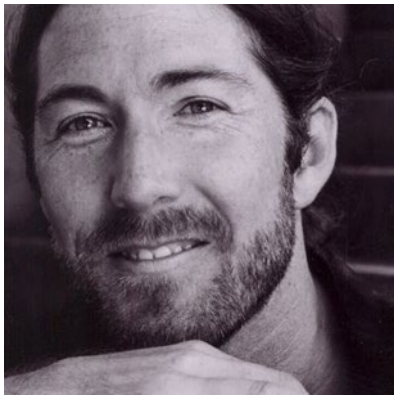
YouTube　Homepage

岩手県遠野市　Ty　Burhoe（タイ　バーホー）

観光・情報発信

～　遠野の宝　発信　～

基本情報



【年　齢】
61歳
【出身地】
アメリカ
マサチューセッツ州
【転出元】
アメリカ
【前　職】
音楽家
【活動時期】
R６.４～R９.３

協力隊に応募したきっかけ

家族と共に暮らしてみたいと思った。
遠野で、何かのお役に立てたらと思い応募した。
また、外国から来たアーティストとして協力隊に加わることで、これまでにない視点で地域や人々と関わることができるとも考えた。
遠野に暮らす芸術や伝統に携わる人々に光を当て、より多くの関心を集められるようミニドキュメンタリーを制作していきたい。

今後の抱負･任期後の目標

勇気を与える
緻密と洗練を重ねることで一つの道を極め、伝統や芸術を生き方として体現する人のいる遠野。忍耐力、精神力が試さる中でもその道や芸術に惹かれ、献身的に向き合う人々がいる遠野。視聴者の中に響くものがあったなら、その背中を押すようなきっかけになるような動画制作・情報発信を継続していきたい。

活動内容

●プロジェクトの概要

遠野在住のアーティストや宝を記録し、世界中の人々に共有するために情報発信に取組んでいる。



●人類の宝がここにある

思慮深く地に足の着いた職人たちを記録に残したいと思っています。古い歴史を受け継ぐ職人もいれば、新しいインスピレーションを生み出す職人もいますが、遠野の自然と歴史に深く関わっている点で彼らは皆共通しています。そんな人たちの姿を記録し、ミニドキュメンタリーとしてホームページや動画配信サイトで世界へ発信している。



●どんな人なのかを知ろう

プロジェクトの核心は、一緒に仕事をするアーティストがどんな人物であるかのかを知ることです。アートと人間関係に関しては、量よりも質を重視します。そのため人と人としての絆を育み、アートだけでなく人物も取り上げることを重要視しています。活動ではアーティスを記録するだけではなく、一緒にアート制作を行いながら、人間関係を構築している。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））tyburhoe@me.com
（電話番号（個人））080 7930 9580
【活動の様子を発信しているSNS･ブログなど】
http://TyBurhoe <http://tyburhoe/>.com
https://www.youtube.com/@TreasuresofTono-wv4gy
https://www.youtube.com/@tyburhoe Ty Burhoeyoutube.com

宮城県仙台市　小松　愛

観光・情報発信

～　秋保エリアの交流人口の拡大　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
宮城県仙台市
【転出元】
千葉県袖ケ浦
【前　職】
作業療法士
【活動時期】
R４.11～

協力隊に応募したきっかけ

私は、宮城県仙台市で生まれ育ちました。東日本大震災に遭いライフラインが断たれた時、近所の方々と支えあうことが必要不可欠でした。過去の経験を通して、将来は宮城の土地で人と人の繋がりを作る仕事がしたいと考えました。

また、前職での作業療法士の仕事を通して、人が健康に暮らせる環境やまちづくりに関わりたいと思い、地域おこし協力隊へ応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

地域おこし協力隊への就任後は、地域の方とのネットワークをつくり、地域特性を活かしたイベントの企画、、SNSで公開することなどで地域に貢献できる活動を行っていきたいと考えています。

また、任期終了後は秋保の土地を利用した地域住民や観光客の交流や関係人口が生まれる場を作り、観光客と仙台西部地区の方々が繋がれるような機会を作る仕事をしたいと考えています。

活動内容

●活動内容　地域資源を活用した商品開発

秋保地域の新たな観光・お土産品の製造所としてオープンした菓子工房「菓と土」の立ち上げに関わる。過去に、秋保の農業者、仙台のパティシエと連携した商品開発を企画し、現在の商品開発にも携わっている。季節商品における農業者との繋がりや、デザイン会社との連携などを実施。



●活動内容　地域団体「AKIU VALLEY協議会」運営

秋保に関わる事業者30社以上が集まる地域団体AKIU VALLEY協議会の事務局運営を実施。

当団体は秋保地域の課題解決に向けたプロジェクトの軸となり、情報共有や勉強会、交流の場を開催している。活動の他、新たに参入した事業者が相談するなど、当団体が地域の窓口的役割となっている。



●活動内容　地域の新たな観光･関係人口の創出

農業の観光産業化に向けた新たな協議会の取り組みとして、商品開発や農業体験、イベントの企画・運営サポートなどに取り組む。また、大学と秋保の地域団体とのネットワークの構築を行い、秋保での新たな関係人口創出に取り組む。商品開発サポートやフィールドワーク、大学への講義対応など行う。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）　komatsu@atfcompany.jp　　（電話番号）022-724-7767

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
instagramアカウント
https://www.instagram.com/akiu_film/

秋田県小坂町　田代　俊之

～　明治百年プロデューサー　～

観光・情報発信

基本情報



【年　齢】
53歳
【出身地】
神奈川県藤沢市
【転出元】
東京都港区
【前　職】
公務員⇒留学⇒旅行会社
【活動時期】
R7.4～

協力隊に応募したきっかけ

2024（令和6）年6月までの2年間、スペインの大学院にて文化遺産の保護と活用について学び、修士論文では「旧鉱山鉄道の観光転用」をテーマに文化遺産を観光へ転用する際のスペインと日本の事例を調査し、持続的な開発を進めていく上での課題と提言をまとめた。小坂町では小坂鉱山によってもたらされた近代化産業遺産を活用した観光の復活、再生に携わる明治百年プロデューサーを募集していたことから、こうした経験を活かしたいと思い、応募した。

今後の抱負･任期後の目標

小坂鉱山鉄道鍋の取組みを通じ、文化遺産の保存と活用を両立しながら、地域に新たな価値を創出したい。
多様な主体との共創により、歴史や文化を次世代へ継承する仕組みを育み、学術と現場、行政と民間をつなぐ橋渡しの役割を果たす。
地域の文脈を基盤に、持続的な社会的事業の可能性を探求し、地域の再活性化に取り組む。

活動内容

●「小坂鉄道鍋」プロジェクト出発進行！

町の文化や歴史を掘り下げ、その価値の再認識とともに多くの人に伝えるため、スペインから伝統的な調理器具「鉄道鍋（オジャ・フェロビアリア）」を輸入。

鍋の輸入元のスペイン北部の鉱山地帯では地域イベントの中心として活用されており、同じ鉱山町である小坂町のイベント「小坂・鉄道まつり2025（10月開催）」でお披露目。「クリスマスマーケットin小坂2025」では、かつて小坂鉱山で活躍した鉱山技師の地元ドイツを想起させる鍋で盛り上げる予定。

鉄道鍋はインターネット上で検索してもリストアップされないことから、日本初上陸…かもしれない「小坂鉱山鉄道鍋」とし、話題性を高め、町に昔からある鍋を囲んで語り合う“鍋っこ”文化をもとに、町の食材を使えばOKとすることで小坂町に新たな鍋っこ文化を育むことを目標としている。

●町が有する近代化産業遺産の魅力を発信！

小坂鉱山が遺した数多くの近代化産業遺産が今も残る小坂町。日々の活動ではこうしたところへも足を運び、その魅力や観光・イベントに関することを発信している。



小坂・鉄道まつり2025でふるまった「小坂鉱山鉄道鍋」



近代化産業遺産が建ち並ぶ明治百年通りで行われた「小坂七夕まつり」
（本人撮影・投稿）

連絡先

【メディア等の取材連絡先】小坂町企画財政班
（メールアドレス）kikaku@town.kosaka.akita.jp
（電話番号）0186-29-3907
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
二次元コード・左：小坂鉱山鉄道鍋プロジェクト
右：小坂町地域おこし協力隊Instagram

福島県玉川村　小針　有希菜

観光・情報発信

～人と人、地域と未来を結ぶ、村の「伝える」最前線～

基本情報



【年　齢】
28歳
【出身地】
福島県 玉川村
【転出元】
東京都 大田区
【前　職】
広告業
【活動時期】
R5.11～(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

体調を崩したことをきっかけに、地元で働きたいと考えていた時、玉川村観光交流施設「森の駅yodge」のアルバイト募集を見かけて応募しました。

その際に地域おこし協力隊という制度を教えていただき、紹介された「情報発信支援隊員」は、これまで培ってきた経験を活かして村に貢献できる仕事だと感じ、挑戦を決意しました。

今後の抱負・任期後の目標

来春で卒隊を予定しています。

それまでに、これまで撮りためてきた映像を活用し、玉川村の魅力を発信するPR動画を完成させたいと考えています。

また、今年度撮影できなかった桜や鯉のぼりイベントなどについては、卒隊後も地元の一人として撮影を続け、映像に追加していく予定です。

卒隊後も、玉川村と深く関わり続ける「関係人口」として、地域の魅力発信に貢献していきたいと考えています。

活動内容

●活動概要

・広報紙制作業務補助（取材、撮影、校正）
・村公式ホームページ、ＳＮＳの運用
・コンテンツ制作（チラシ、ポスター、動画など）
・各メディア対応（ＴＶ出演、新聞社への投げ込みなど）

●現在の活動についての感想

玉川村出身でありながら、地域おこし協力隊として活動するまで、気づかなかった村の魅力が沢山ありました。村の皆さんはとても温かく、「新しい人を受け入れよう」という気持ちを持つ方が多いと感じます。また、新しい情報や外部の知見を積極的に取り入れようとする前向きさも、玉川村の大きな強みだと思いました。

取材を通して多くの方にお話を伺う中で、「玉川村は住みやすいけれど、その良さが外に伝わっていない」という声をよく耳にしました。確かに、玉川村は自然と利便性のバランスが取れ、移住やワーケーションにも適した環境と人が揃っています。その魅力をより多くの人に届けるためにも、情報発信の継続は欠かせません。

現在、役場職員の名刺の裏には「私たちは玉川村の情報発信員です！」という言葉が記されています。その言葉の通り、村の情報発信は一部の担当者だけでなく、一人ひとりや各団体がそれぞれの視点から発信していくことが大切だと感じています。そうした積み重ねが、玉川村の魅力をより多くの人へと伝え、未来につながっていくと感じました。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

電話番号　0247-57-4621（玉川村総務課広報広聴係）

福島県郡山市　古川　公望

観光・情報発信

～　地域の一員として、居心地のいい「リビング」をつくりたい　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
福島県猪苗代町
【転出元】
東京都昭島市
【前　職】
スタートアップ企業
【活動時期】
R５.５～R８.４

協力隊に応募したきっかけ

場所にとらわれず、もっと自由に自分らしく生きられる人を増やしたいと思ったからです。まずは自分が都心から離れ、地方で暮らすことで体現しようと考えました！東京在住時も、SNSで福島の魅力に関する情報発信をしていました。しかし、個人での活動に限界を感じ情報収集する中で、地域おこし協力隊の制度と出会いました。そこで活躍する協力隊の先輩方や事業者さんの存在を知ったことも、福島へ戻る大きなきっかけとなりました。また、歳を重ねることに家族との時間の大切さに気づき、家族との時間も定期的に作りながらライフプランを考えたいと思ったので、一人の時間、家族との時間をバランスよく作れる環境として協力隊になる事を決めました！

今後の抱負・任期後の目標

地域に関わりながら自分らしく生きられる選択をしていきたいと思っています。また、将来的には起業し、経済的自立と自由な時間を手に入れることを目指しています。地域の方々との関係性を深めていきながら、新たな人と人とのつながりが生まれるような場づくりに携わっていきたいです。
「好きな仕事」を「好きな時間」に「好きな場所」で実現できるよう行動していきます！
そしてこれまでの人脈や経験を活かして関係人口を増やし、お世話になった皆さんに還元していきたいです。

活動内容

●地域団体活動サポート



地域団体が継続してきた田舎体験プログラムの、チラシの作成、運営を実施しています。夏は猪苗代湖畔の施設でキャンプを３回実施。秋は新そばで蕎麦打ち体験を２回実施。参加者へのアンケートを実施したことで、運営団体の皆さんに参加者の生の声を届けることが出来ました。また福島の食の魅力をまるっと味わえる福島フードフェスも実行委員会として関わり、学生さんと企画立案、運営を実施しました。

●フォトスポットの制作・魅力発信



商工会の方に協力いただき、ヨソモノ目線で、今まで地域になかったフォトスポットを設置し、地域資源のPR、認知拡散に努めました。ひまわりのアーチや風鈴、装飾を１から作り、地域の特色、魅力を詰め込みました。夏に開催される猪苗代湖の「湖まつり」や東京ドーム約50個分の土地に１８０万本のひまわりが咲く布引高原の「高原祭り」で活用しました！
SNSでフォトスポットの写真を見つけると嬉しくなります。

●ワークショップの実施



郡山市で見た青空の色、夕陽の美しさ、夜空の星、猪苗代湖、地域のお花（桜、ひまわり、梅花藻）などをモチーフにしたレジンアクセサリー作りのワークショップを実施しました。女の子はもちろん、男の子や、大人の方も参加してくれたことがとても嬉しかったです。
今はデザインと色のみで表現していますが、今後は自然の素材、ドライフラワーなど質にもこだわっていきたいです！

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
Mail（個人）ku3to4@gmail.com　Tel（市役所）024−924−2621

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：Kumi【郡山市地域おこし協力隊】

facebook　Instagram

栃木県真岡市　及川　瞳

観光・情報発信

～　日本一のいちご生産量を誇る真岡市を、いちごで日本一楽しめるまちに　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
宮城県気仙沼市
【転出元】
神奈川県大和市
【前　職】
美容部員
【活動時期】
R7.4～

協力隊に応募したきっかけ

栃木県・東京都・神奈川県などで働いてきましたが、宮城県出身だったこともあり、ゆくゆくは地方での暮らしをしたいと考えていました。移住相談会や新規就農セミナーに参加していくうちに、“いちご農家”に興味をもちました。

いちごといえば、栃木県。中でも真岡市は50年以上日本一の生産量を維持していることを知り、真岡での就農を考え始めました。そのタイミングで、いちごのPRができるこの仕事を知り、ご縁を感じて応募しました✨

今後の抱負･任期後の目標

真岡市内で頑張る若手農家さん・真岡市のいちごを長年支えてきたベテラン農家さんたちと一緒に、いちご日本一のまちである真岡市を“いちご”で盛り上げていきたいです🍓

今後は、いちごを購入できる場所づくりや、いちご情報をまとめたいちごマップを作成したいと考えています。
卒隊後は、真岡市でいちご農家として新規就農予定です。若者の目標となれるような経営を目指して頑張ります！

活動内容

●もおかのいちごびとインタビュー

真岡市内にはたくさんのいちご農家がいます。
農家さんによって、栽培方法、販路、就農の経緯や栽培上のこだわりも違います。そんないちご農家の皆さんの話をのぞいてみてください✨
掲載サイト：もおかぐらし
https://www.city.moka.lg.jp/mokaijyu/syuunou/moka_ichigobito/index.html



●SNS運用（いちご栽培･いちご情報等）

真岡のいちごの認知度を様々な形で高めようと、Instagramを運用しています。

①もおかいちご農家物語（@ichigomedia.tochigi）
いちご農家のインタビュー動画や、いちごの1年の様子が分かる動画を投稿しています！

②いちごのまちあるき（@tochigi_moka.gourmet）
いちごグルメなどを紹介！



●FMもおか出演

毎月第2水曜日の12時～13時（再放送は18時～）に、FMもおか（87.4Hz）に出演しています。
毎月の活動内容や、普段の生活について話しています。
スマホのアプリ「FMプラプラ」で聞くことができます！



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス：職場）city-pr@city.moka.lg.jp
（電話番号：職場）　0285-81-6947

【活動の様子を発信しているインスタグラム】
（活動用個人）https://www.Instagram.com/moka_ichigo_tommy
（真岡市協力隊）https://www.Instagram.com/mokacity_chiikiokoshi

@MOKA_ICHIGO_TOMMY　@MOKACITY_CHIIKIOKOSHI

群馬県渋川市　胡　玄燁

観光・情報発信

～　外国人の目線で渋川市のおもしろさを伝えたい　～

基本情報



【年　齢】
37歳
【出身地】
台湾高雄市
【転出元】
東京都大田区
【前　職】
ハイヤー運転手
【活動時期】
R6.10～

協力隊に応募したきっかけ

私は昔から日本が好きで毎年のように訪日し様々な観光名所を訪れ、日本の自然や文化に魅了され、いつか日本で観光業に携わりたいと考えるようになりました。

2022年に来日し、都内で運転手と観光ガイドとしてハイヤー会社に勤めましたが、都会よりも日本の魅力的な四季や自然を感じられる場所で暮らしたいと思っていたところ、台・日交流のFacebookのグループで渋川市の地域おこし協力隊について知り、自分の実現したい暮らしができるのではないかと考えたことがきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

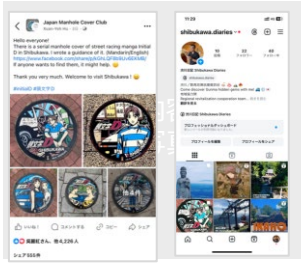
渋川市に移住したばかりなので、伊香保の歴史、渋川の観光資源、知識など色々勉強中です。今後、台湾・世界と日本の懸け橋となり、渋川市の魅力を発見し、世界中に発信し、広めていきたいと思います。

前職の経験を活かして、渋川市のインバウンド観光振興のために貢献したいです。

活動内容

●インバウンド向け観光情報発信

中国語・英語を中心にFacebook、X、Instagramで渋川市の観光スポット、観光情報などを発信しています。



●インバウンド向け観光ガイド

現地観光ガイドを希望する外国人観光客に対し、ニーズに合わせたツアープランの企画・提案や、ツアーに同行しながら中国語・英語で各スポットの解説、施設スタッフとの通訳、おすすめの場所への案内などを行っています。



●インバウンド向け体験観光商品の造成に向けた研修

インバウンド向け体験ツアーの企画造成に向けて、旅行会社において実地研修を行い、ツアーの企画造成から販売までの手法を学んでいます。また、旅行業務に関する資格取得を目指しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kankou@city.shibukawa.gunma.jp（渋川市観光課）
（電話番号）0279-22-2873（渋川市観光課・直通）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/shibukawa.diaries
(Instagram) https://www.instagram.com/shibukawa.diaries/
(X) https://x.com/shibukawa_diary

群馬県前橋市　村上　史

観光・情報発信

～　心も体も健康で幸せなまちづくりを目指すスローシティを推進！　～

基本情報



【年　齢】
45歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
東京都青梅市
【前　職】
出張料理人
【活動時期】
R5.11～R8.10

協力隊に応募したきっかけ

フリーランスの料理人として一人で活動をしている中で、物理的にも能力的にも出来ることが限られると実感していました。
そんな中、知人から前橋市の地域おこし協力隊募集の話を聞き、活動の内容としても自分の経験や能力が活かせると思い、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

地域の食の魅力や、どのように観光、地域作りに活かしていくかを考えていきたいです。
任期後は、自分の料理や経験を活かせる仕事に就きたいと思っております。

活動内容

●料理教室の講師

前橋結婚応援パートナー支援事業として、前橋の地域若者会議縁活プロジェクトチームとの共同により催される『縁活カフェ』のイベントで料理教室の講師を務めました。昨年考案した前橋の家庭の味「まえばし焼」を作り、参加者にも好評でした。



●伝統野菜「田口菜」の収穫・調理体験

前橋市田口町で採れる田口菜は、栽培条件の難しさや旬の時期が短いことなどから、あまり市場には出回らず地元で親しまれている伝統野菜です。
田口菜の収穫から調理まで自分たちで行い皆で食卓を囲むイベントを主催しました。スローシティについて学ぶ大学生が参加し、貴重な体験になりました。



●ダマスクローズ＆ストロベリージャムの商品開発

食用にもなる有機のダマスクローズを育てている生産者の方からの依頼で、ジャムを考案しました。
前橋はいちごの生産も盛んなので、バラといちごどちらも前橋産という前橋らしいジャムになりました。
商品のジャムは全て自分で作り瓶詰も行ってマルシェで販売し、とても喜ばれました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））6labogohan@gmail.com
（電話番号（職場））027-898-6971
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（スローなまちづくり全国推進委員会）https://slowfriendsjapan.com
（個人Instagram）https:// www.Instagram.com/6_labo

千葉県銚子市　春日　友里

観光・情報発信

～　銚子を発信！銚子に発進！！　～

基本情報



【年　齢】
35歳
【出身地】
千葉県匝瑳市
【転出元】
埼玉県志木市
【前　職】
パン屋の店舗販売員
【活動時期】
R６.９～R９.８

協力隊に応募したきっかけ

応募したきっかけは自然豊かな場所で暮らしたいと思ったからです。銚子市を選んだ理由としては、景色が綺麗で、魚が新鮮で美味しいからです。実家は匝瑳市で学生の時から銚子には何度も足を運んでいました。犬吠埼灯台や屏風ケ浦、外川の町並みなど見どころがたくさんあります。大好きな銚子の観光の仕事、地域活性化に携わりたいと思い今回応募しました。銚子は海も近く気候も穏やかで、人も温かくとても暮らしやすい場所です！

活動内容

●SNS発信

X、Instagramなどで銚子市の観光地やお店、商品の紹介を行っています。
銚子は素敵なスポットがたくさんあります！SNSで写真や動画の作成を行い、世界中に銚子の魅力を発信しています。





●店舗での活動

銚子観光案内所、銚子ポートタワー、地球の丸く見える丘展望館、DMO事業室で活動しています。
日本各地、近年では海外の方も多く訪れています。
「銚子市はとても良いところでしたよ！」と笑顔で言ってもらえるととても嬉しいです。



●イベントの開催･参加

地域おこし協力隊の活動内容の展示会『銚子市地域おこし協力隊WEEK』を開催。地域の方と地域おこし協力隊が交流できる場を設けました。『あなたの銚子の推しは？』ではおすすめスポットをふせんに書いて貼ってもらい、観光に訪れた人に推しスポットをまわってもらう仕組みを考えました。



今後の抱負･任期後の目標

SNSを活用し市外や県外の方への情報発信、海外の方に向けた魅力のある発信をしていきたい。銚子の名産物を使用した商品開発や、お銚子もんのネット販売・ふるさと納税のPR方法を考えていきたい。

３年間の任期終了後も観光協会で引き続き勤務し、観光客の方にまた銚子市に来たいと思ってもらえるように地域の方たちと一緒に頑張っていきたい。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kasuga@choshikanko.com
（電話番号（職場））0479-22-1544（銚子市観光協会）
（FAX番号（職場））0479-25-4000（銚子市観光協会）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
@choshi_flat_com　銚子市観光協会【公式】（Instagram、X）
@yurikasuga2024　春日友里（Instagram）

東京都大島町　石山　侑芽

観光・情報発信

～　「アイデアや気付きを活かす」大島町だからできる新しい挑戦！　～

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
北海道釧路町
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
学生
【活動時期】
R7.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

お世話になっていた先生から大島を紹介していただき、関心を持ったことがきっかけです。学部生時代には、神津島や隠岐の島でも住み込みのアルバイトをしていたので、島での暮らしに楽しさや豊かさを感じていました。もともと専攻していた観光について携われるお仕事ができると知り、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

観光を通じて島外の方に大島の良さを知ってもらうだけでなく、島内の方々が、今暮らしている大島をもっと誇りに思ってもらいたいと考えています。そのために、地域のPRや新しいイベントの企画に力を入れて頑張りたいと思います。

活動内容

●イベントの企画

大島の交流人口の増加を目指し、新しいイベントの企画・提案を行っています。
今年度は、大島にて男女の出会いを促進する「島恋活」の企画を担当しました。



●地域の魅力PR

大島の特産品を都内で販売する物産展や、PRイベントを通じて、大島町のPRを行います。
物産展にてステージ発表などがある際には、大島に関わるクイズなどを出題するなどして、なるべく多くの方に関心を持ってもらえるように取り組んでいます。



●SNS運用

大島町役場観光課のSNS運用を行い、物産や島内外でのイベント情報、大島の風景を伝えるリール動画などを投稿しています。





連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス)　c070101@town.tokyo-oshima.lg.jp
(電話番号) 04992-2-1446
【SNS】(Instagram)【公式】大島町役場 観光課　（oshima_kankou_）
(facebook) 大島町役場 観光課
(X)【公式】大島町役場 観光課　（@oshima_kankou）

東京都大島町　野中　駿輝

観光・情報発信

～　「アイデアや気付きを活かす」大島町だからできる新しい挑戦！　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
静岡県静岡市
【転出元】
静岡県静岡市
【前　職】
公務員（警察官）
【活動時期】
R７.４～

協力隊に応募したきっかけ

旅行で訪れた際に伊豆大島の雄大な自然と穏やかな時間の流れに心を惹かれ、「いつかこんな場所に住んでみたい」と感じました。その後、大島で地域おこし協力隊を募集していることを知り、迷うことなく応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

伊豆大島の自然、食、文化、人の魅力を、もっと多くの方に知ってもらえるよう、SNSでの発信や島外での物産・イベントを通じて、島の魅力を広げていきたいです。

活動内容

●SNS･Instagramでの情報発信

Instagramを通して、オリジナルキャラクター「いずっち」を中心に、島の魅力や課題などを移住者のリアルな目線でマンガとして発信。
来島のきっかけづくりにつなげています。



島外でのPR活動（大島の特産品紹介）

地元事業者と連携し、東京都内などで開催される物産展や観光イベントに参加。椿製品をはじめとする大島の特産品を紹介しながら、島の魅力を直接届けています。



●島内イベントの運営

町役場職員の方々と協力し、島内イベントや展示の企画・運営を実施。観光や地域交流を通じて、住民と来島者がつながる機会を作っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）c070101@town.tokyo-oshima.lg.jp
（電話番号) 04992-2-1446
【SNS】
（Instagram）【公式】大島町役場 観光課　（oshima_kankou_）　ほか
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/oshimabase

新潟県長岡市　押山　裕之

観光・情報発信

～　江戸時代から続く「醸すまち」摂田屋・宮内エリアの魅力を世界に伝える！　～

基本情報



【年　齢】
60歳
【出身地】
愛知県蟹江市
【転出元】
三重県鈴鹿市
【前　職】
車の製造工程勤務
【活動時期】
R.7.8～

協力隊に応募したきっかけ

息子の進学で長岡市と縁を持つことになった事がきっかけでしたが、実際に来てみると新しいものと古いものとがバランス良く存在し、自然にも恵まれた素晴らしい土地であることを実感しました。
魅力あるこの街をより多くの人に知ってもらい訪れてもらいたいという思いから自分もその役割を担う仕事に就こうと決心しました。

今後の抱負・任期後の目標

赴任して3ヶ月がたちますが知れば知る程この町の歴史や文化に興味がわいてきます。
今後は自分が関わる宮内・摂田屋地区がより活性化し、多くの人と人とが交わり合い多様な相乗効果が生まれる場所となるように、外から来たものという視点も併せて接着剤や活性剤の役割となって活躍していきたいと思います。
任期後はこの宮内・摂田屋地区でそば店を開業することを目標として頑張って参ります。

活動内容

●旧機那サフラン酒製造本舗・米蔵での活動

旧機那サフラン酒製造本舗に来ていただいたお客様に日本一の鏝絵の蔵のご案内や長岡市の魅力等をお伝えしています。
また、機那サフラン酒本舗保存を願う市民の会の方たちと協力して国の登録文化財である施設の管理運営を行っています。



●秋山孝ポスター美術館長岡での活動

長岡市出身のグラフィックデザイナー秋山孝先生から寄贈して頂いた作品と美術館（大正時代に建てられた元は銀行の建物）を、来館して頂いたお客様に対してご案内ご説明をするお仕事をお手伝いしています。



●chahho。の活動

宮内で元お茶屋さんとして営業していたお店をシェアキッチン等が入る複合施設としてリニューアルオープンした「chahho。」
ここで地域の方たちとコミュニケーションを深め一緒に何ができるかを考えたり、新たな仲間を作る取り組みを行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））h-oshiyama@miraihakko.jp
（電話番号（個人or職場））090－4366－0389

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://settaya-miyauchi.jp

富山県上市町　田　冰茹（でん　ひょうじょ）

～　０円空家コーディネーター　～

観光・情報発信

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
中国
【転出元】
東京都板橋区
【前　職】
大学生
【活動時期】
R7.4.1～現在

協力隊に応募したきっかけ

大学在学中に、町と連携して実施されたインターンシッププログラムに２度参加しました。町の皆さんから親切で温かいおもてなしを受け、人の温もりに大きな感動を覚え、この経験が深く心に残っています。「今度は自分がこの町に恩返しがしたい！」という思いから、協力隊への応募を決意しました。

今後の抱負･任期後の目標

空き家情報だけでなく、町全体の魅力発信を行いたいです。町の中にある魅力を自分の目で再発見し、それを町内外、さらには国内外へと発信していくことを目指しています。

外国人としての視点を活かしながら、異文化交流を促進するような活動も行いたいです。地域の観光資源や季節行事を活かした楽しいイベントの企画にも積極的に取り組みたいと思います。

活動内容

●０円空家コーディネーター

町の特色ある事業のひとつである「上市町０円空家バンク」。“空き家をタダでいいから譲りたいという人”と、“田舎で暮らす空き家を探している人”をマッチングさせる仕組みを「０円空家コーディネーター」として世界へ情報発信しています。



制度の内容や関連する補助金、登録された０円空家の物件情報等を日本語だけではなく、英語と中国語で発信することで、国外からも内覧会に参加される方が増えており、移住者の増加や地域の活性化に繋がっています。

▼空き家内覧会の様子





連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス　kamioko.tian@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　@kamiichi_sumimachi

KAMIICHI_SUMIMACHI

富山県上市町　カレン・ヘンドリクソン

観光・情報発信

～　外国人ファンを増やす情報発信　～

基本情報



【年　齢】
59歳
【出身地】
アメリカ
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
国際教育員
【活動時期】
R7.6.1～現在

協力隊に応募したきっかけ

「多くの外国人に日本の素晴らしさが伝わるように、何かできることはないか」という気持ちから協力隊に応募しました。

以前、京都で仕事をしていた時に、京都を訪ねている外国人観光客に話を聞いてみると、ほとんどの方は「東京、京都、大阪ルート」で日本を回っているようでした。せっかく日本を訪問しているのだから“ザ・日本”ともいえる田舎にも足を運び、より深く日本文化にたっぷり浸かってほしいと思っています。

今後の抱負･任期後の目標

外国人向けのツアーや体験学習を企画し、“ザ・日本”を心の奥まで感じていただけるようにがんばりたいと思います。

活動内容

●観光パンフレットの翻訳

外国人にも人気の観光地、「大岩山日石寺」のパンフレットをよりネイティブな英語で表記するための翻訳を行っています。このほか、観光協会が作成する観光パンフレット等も翻訳を進めていく予定です。



●観光ガイド

移住希望者向けに町が実施する「上市暮らし体感プログラム」にて、ほかの協力隊と一緒に旬な町の魅力を案内する観光ガイドを行っています。外国人目線で感じた町の魅力、先輩移住者として伝えたい等身大の暮らしの情報は移住希望者にも大好評です。

また、観光協会と協力し、観光客や視察者等への観光案内も行っています。

・取得資格
富山県地域通訳案内士
（インバウンド専攻）





連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス　kamiichi.karen.hendrickson@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　@discover.japan.in.kamiichi

@DISCOVER.JAPAN.IN.KAMIICHI

山梨県富士吉田市　馬場　亮河

観光・情報発信

～　地域の記憶を残すアーカイブ活動　～

基本情報



【年　齢】
26歳
【出身地】
コロンビア
【転出元】
東京都世田谷区
【前　職】
大学生
【活動時期】
R6年度～R8年度

協力隊に応募したきっかけ

大学生の時に授業がきっかけで訪れた富士吉田市の魅力に飲み込まれ、自然と地域に通うようになっていた。新型コロナウイルスの影響で大学の授業がオンラインに切り替わった際に、富士吉田市で住み込みでアルバイトをしたり、友達と家を借りて二拠点居住を始めた。1年間の海外留学を経て、地域の記憶を保存・公開する「アーカイブ」という営みに出会う。社会学・人類学を専攻していた自分のスキルを活かしながら、地域課題に向き合うことができる協力隊に応募した。

今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負は、これまで収集した写真やオーラルヒストリーをアーカイブとして構築したものの活用である。アーカイブを”生きた”ものとして育むためには、多様なスキルを持ったチームの編成とあらゆる手法での利活用が求められる。さらに、アーカイブ自体の活用だけではなく、アーカイブの過程に目を向け、デザインの領域やフィールドワークという枠組みで地域に根差した価値を普遍化する活動へと転換していきたい。

活動内容

●「知る」

地域の民俗館や博物館では知ることのできない、地域住民の口から語られる生活の記憶を知る。商店街の老舗や行き当たりばったりの地域住民への非構造化インタビューを通して、語られる言葉を聞き・書く作業を行う。



●「集める」

語りを記録するのと並行して、地域に関連する古写真を募集する。ときには自分から自治会や地域に詳しい人へ出向き、古写真を見せていただく。古写真としての「物」や言葉としての「語り」をひたすら集め、整理する作業。



●「生かす」

このようにして集めた古写真と地域住民の語りを具体的に想起しやすく「物語り」へと編集する。「生かす」過程ではアーカイブを活かした展示や出版に止まらず、「知る」「集める」の過程を様々なメンバーと連携して行うことで、デザイン・芸術・学術の領域へと拡張し、アーカイブを軸にした様々な活動が生まれることを目指します。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））Ryoga.baba*gmail.com
（電話番号（個人））070-3143-3080

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（フジアーカイブス）https://fuji-archives.com
（インスタグラム）@archive_fuji

長野県安曇野市　栗原　怜里

観光・情報発信

～　カメラ片手に、長靴履いて。　～

基本情報



【年　齢】
39歳
【出身地】
埼玉県朝霞市
【転出元】
台湾新北市
【前　職】
Webライター
【活動時期】
R7.10～R10.9

協力隊に応募したきっかけ

自然豊かな安曇野で子育てをしたく、家族で移住を考えていたところ、地域おこし協力隊の募集を知りました。
自然、そして地域に関わる仕事に興味があったこと、記者経験を生かせることに加え、「さとぷろ。」の取り組みに強く共感したことが応募の動機です。

今後の抱負・任期後の目標

新聞写真記者やウェブライターの経験を生かして、里山の魅力を広く発信して多くの皆さんに里山のことを知ってもらえるように活動していきたいと思っています。

活動内容

●さとぷろ。の活動発信

「安曇野市里山再生計画」に基づく活動「さとぷろ。」に取り組みながら、市民の認知度アップを目指す「さとぷろ。」編集部員として、里山に実際に入り、一緒に汗を流して活動する中で、猟師さんから話を聞いて知識を深めたり、森林整備の技術を学んだりと、里山での活動に必要な知識や技術を身に着けながら、日々変化する山の姿を逃さずにカメラに収めたり、自分の言葉で地域内外に発信していく仕事です。





連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kouchirinmu@city.azumino.nagano.jp
（電話番号（職場））0263-71-2432

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/satopro_/

長野県原村　松原　美帆

観光・情報発信

～　観光地域づくり推進　～

基本情報



【年　齢】
22歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
学生
【活動時期】
R7.10～R10.9

協力隊に応募したきっかけ

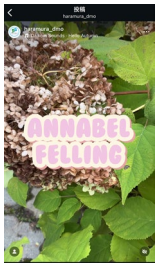
機織りを学ぶために原村を訪れたことが最初のきっかけでした。滞在する中で、豊かな自然や温かい人々など、この村にはたくさんの魅力があることに気づきました。しかし、それらが十分に発信されていないと感じ、もっと多くの人、特に同世代にこの魅力を伝えたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今後はSNSでの発信をやりつつ、元々あるイベントやこれからやってみようとしていることなどに自分も加わって、他県の人が来たくなるような事をやっていきたいと思います。任期後は原村の裂織を続けていこうと思います。

活動内容

ペンション区から依頼されたアナベルの刈り取り作業をイベント化し、SNSで発信しました。最終日の参加者は2人だけでしたが、初めて動画編集に挑戦し、作業の様子を映像で記録・発信することで、原村の魅力を伝える工夫をしました。



現在企画中のペンション区のイルミネーションイベントでは、プログラミング担当者からの依頼で、児童館の子供たちからアイデアを見いだし、子供が楽しめるクイズとその仕組みづくりを任されています。まだ外部には公開していない企画ですが、魅力を体験として届ける準備を進めています。



現在、原村内の看板の現状調査を1人で担当しており、年内の完了を目指しています。位置や状態を記録し、関係者が情報を上書き・共有できるよう、電子媒体で整理・保存する形で進めています。地域の景観整備に役立てるための基礎資料づくりなので、後の地域おこし協力隊の方へ残せたらと考えてます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場）shokan94@vill.hara.lg.jp
（電話番号（個人or職場））0266-79-7072

長野県原村　金井　克恵

観光・情報発信

～　観光と地域をつなぐ原村らしさの案内人　～

基本情報



【年　齢】
48歳
【出身地】
埼玉県深谷市
【転出元】
埼玉県深谷市
【前　職】
事務職
【活動時期】
R7.10～R.10.9

協力隊に応募したきっかけ

ミッションが環境や任務地も含めて今後展開していきたいことと合っていたため。

今後の抱負･任期後の目標

地域のヒト、モノ、コトとうまくバランスをとりながら村内外との接点をつなげて原村をPRし誘致していく。
任期後は食に関する経営をしていきたい。

活動内容

●アナベル剪定イベント開催

ペンション区にある約300mの道路沿いに咲いていたアナベルの剪定をイベント化。
Instagramで募集をかけ、参加者にはドライフラワーのアナベルと特産品の雀ケ森山ブレンドコーヒーをプレゼントした。



●イルミネーション企画参加

毎年11月～1月に行われているイルミネーションの実行委員会に参加して企画、装飾作業に携わっている。



●ペンションの現状視察

ペンション区にあるペンションをまわり、現在の運営状況等をヒアリングしている。
情報更新をしてペンション宿泊希望者に適切な案内やPRができるようにしていく。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））shokan93@vill.hara.lg.jp
（電話番号（個人））0266-79-7072

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）haramura_nagano、haramura_dmo（発信予定）

長野県大鹿村　クレマス　ダニエル

観光・情報発信

～　大鹿村で体験型観光の推進を　～

基本情報



【年　齢】
46歳
【出身地】
ドイツ
【転出元】
長野県飯田市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.4～

協力隊に応募したきっかけ

山と自然、そして自転車に乗ることが好きです。自然の豊かな山村で暮らしながら、自転車と関わる仕事ができるため、大鹿村へ応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

今後、大鹿村で開業したいです。民泊、自転車ガイド、農業、林業、狩猟などをしたいです。

活動内容

●体験型観光の推進

大鹿村のレンタサイクル（E-バイク）の整備をします。
村内自転車ガイドツアーを提供します。
秋葉街道（国道や旧道　※舗装道）をサイクリングルートとして紹介し、誘客したいです。

●周遊型観光の推進

大鹿村の歴史、文化、自然について勉強します。今度、この情報をもとに多言語観光案内ウェブサイトを作る予定です。
村民と協力して、村の古道を整備し地図を作ります。

●観光振興ツールの推進

村民の若者が安全に自転車を楽しめることをめざして、村の子供のために自転車とマウンテンバイククラブを作りたいです。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））ki-zaisei@vill.ooshika.lg.jp
（電話番号（個人or職場））0265-39-2001（大鹿村役場　代表）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

長野県信濃町　窪谷　充代

観光・情報発信

～　観光プロモーションー信濃町の自然と人をつなぐ魅力発信ー　～

基本情報



【年　齢】
４１歳
【出身地】
東京都足立区
【転出元】
長野県中野市
【前　職】
営業企画・広報
【活動時期】
R５.１０～R８.９

協力隊に応募したきっかけ

東京出身で、大学卒業後も都内で働いていたが、忙しない生活に疲れ、自然の中でリセットしたいと思うようになった。その後、長野県で季節労働を始め、自然に囲まれた暮らしを続けていたが、40歳を前に定住できる場所を探していたところ、たびたび訪れていた信濃町の豊かな自然と穏やかな雰囲気に惹かれ、移住したいという気持ちが強くなった。町の情報を調べる中で協力隊の募集を知り、自分の経験を生かせると感じて応募した。

今後の抱負・任期後の目標

これからも町の自然や人とのつながりを大切にしながら、観光や癒しの森事業を通じて信濃町の魅力を伝えていきたいと考えている。任期後は、森林セラピーの学びを生かし、香りやカウンセリングを取り入れた体験型プログラムを展開しつつ、町民や観光客が気軽に森にふれられる拠点づくりに取り組みたい。人と自然が心地よくつながる場所を育て、信濃町ならではの癒しと学びの輪を広げていくことを目指している。

活動内容

●癒しの森事業サポート

癒しの森事業として、森林セラピーを通した地域活性に取り組んでおり、コース整備や町民向けイベントのサポートを行っている。関係団体やトレーナーと連携しながら運営を支え、参加者が安心して森を楽しめる環境づくりにも努めている。



●観光誘客宣伝･プロモーション業務

雑誌・SNS・映画館広告などを活用し、信濃町の魅力発信に取り組んでいる。地域の事業者と協力しながら、町の魅力を多様な形で届けることを目指している。国内だけでなく、インバウンド誘客にも力を入れて取り組んでいる。



●「信濃町未来の森人」の活動

「信濃町未来の森人」を立ち上げ、町の子どもたちが自然や森に親しむきっかけづくりに取り組んでいる。葉っぱのたたき染めや森の香りを楽しむ体験など、五感を使って自然に触れる活動を通して、森の恵みや自然と関わる楽しさを伝えている。地域の方々と協力しながら、子どもたちが自然に興味を持ち、身近に感じられる機会をつくっている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
<信濃町役場 産業観光課 商工観光・癒しの森係>
026-255-3114
syoukoukankou@town.shinano.lg.jp

長野県木島平村　木村　未都

観光・情報発信

～　魅力ある地域資源の発掘、コンテンツ化、情報発信による木島平ファンの獲得　～

基本情報



【年　齢】
32歳
【出身地】
岐阜県恵那市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
事務
【活動時期】
R5.4～R9.3（1年育休）

協力隊に応募したきっかけ

もともと趣味でトレイルランニングや登山をしており、木島平村の存在を知っていました。知人がすでに村で生活していたこともあり、地域おこし協力隊という働き方があることを教えてもらいました。情報発信の業務や関係人口作りは未経験でも応募できたので新しいことに挑戦してみようと思い応募しました。また、今後子育てをするなら都会よりも自然が豊かな場所がいいと思っていたこともあり、応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

実際に生活をする中で、高齢化に伴い飲食店や農家など今後の担い手が少ないことを強く感じました。もともと管理栄養士をしており、食に興味があるので、木島平村の美味しいお米や食材を使用しなにか村のためにできればと考えています。

活動内容

●めぐる木島平を通して情報発信

木島平村の最新情報や観光情報を掲載している村の観光メインのホームページの更新を主にしています。イベント情報や、村内の商業施設、観光スポットの紹介をし村内・村外の方に向けて随時更新しています。



●村での生活を紹介

村外の方に、村内の生活を知ってもらいイメージしてもらうために村民の方にインタビューをし記事を作成しています。毎月1記事更新しています。職種や年齢、もともと村に住んでいる方、移住者の方など偏りのないように様々な方にインタビューをしています。



●SNSの更新

インスタグラムを更新し、観光情報や木島平村でのリアルな生活を紹介しています。情報収集のために村内へ撮影に行ったり、イベントに実際に参加し、地域活動に参加しています。フォロワー数は毎月増加しており少しづつですが木島平村を知ってもらうきっかけ作りに努めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@kijimadaira.org
（電話番号（職場））0269-82-2800
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
めぐる木島平　https://kijimadaira.org/
インスタグラム　https://www.instagram.com/kijimadairaorg/

長野県木島平村　村田　恵

観光・情報発信

～　魅力ある地域資源の発掘、コンテンツ化、情報発信による木島平ファンの獲得　～

基本情報



【年　齢】
41歳
【出身地】
福島県郡山市
【転出元】
埼玉県和光市
【前　職】
広告系制作ディレクター／アートディレクター兼デザイナー
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

アウトドア活動全般が大好きで、地域の自然と人を繋げる仕事に興味があったから。

長年クリエイターとしての仕事を続けていてキャリアがあるため、自身のスキルを活かして地域のプロモーションに貢献できればと思ったから。

今後の抱負・任期後の目標

アウトドア活動を通して地域の自然と人を繋げる仕事に携わりたい。

アウトドア関連のプロモーションに携わる仕事を続けていきたい。

活動内容

●地域の資源を活用した催しの企画・開催等

観光や地域振興を目的としたツアーやイベントの企画・開催を行なっている。自身も、潜在的な魅力がありながらも効果的な活用がされていない古民家「郷の家」や「カヤの平高原ロッヂ」を活用したイベント等を担当し、その魅力を伝える活動を行う。



●地域のプロモーション

村の観光資源をモチーフとしたノベルティの制作や姉妹都市との盟約記念ロゴ制作・地域商品のデザイン制作等を通して、村の魅力を村外にプロモーションする活動を行なっている。
また、（一社）木島平村観光振興局のメディア等で村の魅力を発信する活動を行なっている。



●森林セラピー基地「カヤの平高原」の活用促進

村の観光スポットの1つであるカヤの平高原は医学的実験に基づく効果が証明された森林セラピー基地に認定されているが現在有効活用されていない。その活用に向けての検証や取組みを個人でも行なっている。具体的には県内在住のヨガインストラクターらと共同でイベントを開催し、森ヨガや森歩き（森林セラピー）を通して、カヤの平高原の新たな活用法の模索やその魅力を伝える活動を行なっている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@kijimadaira.org
（電話番号（職場））0269-82-2800
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
めぐる木島平　https://kijimadaira.org/
インスタグラム　https://www.instagram.com/kijimadairaorg/

長野県木島平村　平野　星矢

観光・情報発信

～　魅力ある観光資源の発掘、コンテンツ化、情報発信による木島平ファンの獲得　～

基本情報



【年　齢】
38歳
【出身地】
長野県長野市
【転出元】
長野県松本市
【前　職】
庭木・植木屋
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

長野県内で協力隊ができる地域を優先的に探しました。田舎で土地が余っていて、植木を育てる畑がある地域として木島平村を選びました。北信地域は元々土地勘もあり、実家からも1時間程度の距離のため、将来的にも活動し易いと思いました。将来的に植木の生産などの仕事をメインにしたかったので、自然豊かな木島平村で働けることは自分にとってとても魅力的でした。

今後の抱負･任期後の目標

植木の仕事を本職にしたいです。
ある程度木は自然に育つので、将来の為に植樹と山の持ち主から許可を取って掘る「山獲り」は直ぐに収入源に繋がるので、できれば山を多く持つ地主と繋がりたいです。

活動内容

●観光案内業務

道の駅の管理運営をはじめ、観光窓口の対応・レンタルバイク貸出しやメンテナンスをはじめ、観光全般の総合案内を行っています。



●体験コンテンツの造成

観光資源を活用したスノーシューガイドツアーや、カヤの平高原フォトツアーなど地域の自然を活かした体験コンテンツの企画運営を行っています。このほかE-bikeのサイクリングコースを作成し、グリーンシーズンの誘客を図るとともに、交流人口拡大に向けた取組みを進めています。



●地域協力活動

地元中学生と道の駅敷地内に初心者向けのMTBコースの作成や乗り方の指導など、地域協力活動にも取り組んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@kijimadaira.org
（電話番号（職場））0269-82-2800
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
めぐる木島平　https://kijimadaira.org/
インスタグラム　https://www.instagram.com/kijimadairaorg/

長野県木島平村　保倉　敏樹

観光・情報発信

～　魅力ある地域資源の発掘、コンテンツ化、情報発信による木島平ファンの獲得　～

基本情報



【年　齢】
26歳
【出身地】
長野県長野市
【転出元】
東京都
【前　職】
小売業
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

以前に木島平村の協力隊員だった友人から「協力隊」という仕事を紹介してもらいました。詳しく話を聞く機会があり、木島平村の地域おこし協力隊の仕事の中に、「村の観光資源や地域産業の活性化に向けた仕事」に関して、非常に興味があったため、応募しました。
また木島平村のような自然環境の中で仕事ができる事に魅力を感じていたということもあり、将来、こういった自然の中で仕事をしていきたいと考えていたことから、今後に向けての準備としてもいいきっかけになればと思い応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

中・高の教員免許を取得していることから、何かを伝えたり、教えたりすることが自分に向いていると感じました。実際に協力隊の活動の中でも、村の小・中学校に行き、授業のサポートや指導したこともありました。将来的には指導者や教育者を目標に現在の活動の経験を大切にしていきたいと考えています。

活動内容

●E-BIKEレンタサイクル事業

道の駅FARMUS木島平の管理、観光案内、電話対応など基本的な業務を行っています。
またアクティビティ担当として、E-BIKEレンタサイクルに事業に関わっており、イベント企画やコース作成など、E-BIKEの利用促進に向けた取組みを行っています。



●2025奥信濃100アフター

毎年6月に村内で開催されている「奥信濃100」トレイルランニングレースでは近隣地域から約1500人が来訪されます。アフターイベントとして、レースの翌日に道の駅FARMUS木島平にて抽選会を開催しました。抽選会では、木島平村の特産品を抽選の商品として活用し、地域のＰＲと交流人口拡大に向けた誘客活動を進めています。



●地域協力活動

未来塾では、学生が主体的に自分のやりたいことを見つけ、それをサポートするというものです。体力を付けたいという生徒さんと一緒に体力を付けるためのプログラムを考え、体力向上を目標に活動しています。



連絡先

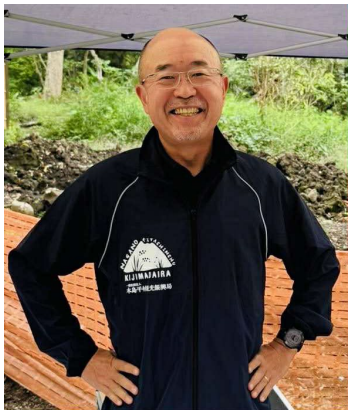
【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@kijimadaira.org
（電話番号（個人or職場））0269-82-2800
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
めぐる木島平　https://kijimadaira.org/
インスタグラム　https://www.instagram.com/kijimadairaorg/

長野県木島平村　松森　正彦

観光・情報発信

～　魅力ある地域資源の発掘、コンテンツ化、情報発信による木島平ファンの獲得　～

基本情報



【年　齢】
57歳
【出身地】
長野県松本市
【転出元】
神奈川県藤沢市
【前　職】
会社経営
【活動時期】
R7.6～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

7年ほど前から、趣味のトレイルランニングで木島平村を年に数回訪れていました。次第に木島平での友人も増え、地元の大会である「奥信濃100」の運営にも関わるようになりました。私の中では木島平村は第二の故郷と言っても過言ではありません。
任期の関係で前職に一区切りがついたタイミングで、たまたまこの仕事の公募を見つけ、運命的なものを感じて応募するに至りました。

今後の抱負･任期後の目標

現在、観光振興局の事務局長を務めています。主な仕事は観光に関することになりますが、自分としては、観光という範囲にとどまらずこの村を良くしていくのが使命だと考えています。
この村が長く続き、村民の皆さんが幸せに暮らし、その雰囲気に惹かれて多くの人が故郷のように訪れる村になるように、できることは何でもやっていきたいと思います。

活動内容

●木島平村を村外にPR

木島平村を村外にPRする活動をしています。
・展示会への出展　　・SNS等の運用
・印刷物の制作と配布
・マスメディアへの売り込み
・各種アワードへの応募　など



●観光客と木島平村をつなぐ活動

村外からの観光客を誘致するために、様々なイベントを実施しています。イベントの模様をSNS等でPRし、次の観光客誘致につなげます。
また、日常的に村民との接点を作るべく、村の様々な活動（お祭りなど）にも参加します。



●未来に向けての様々なしかけ

村の観光ビジョン策定等の活動にも参加しています。策定したビジョンを元に、観光振興局として施策を検討していきます。
また、村外の他団体等と連携し、新たなイベント、催し物等の誘致にも取り組んでいます。（写真は誘致を図っているイベントの試走中）



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@kijimadaira.org
（電話番号（職場））0269-82-2800
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
めぐる木島平　https://kijimadaira.org/
インスタグラム　https://www.instagram.com/kijimadairaorg/

長野県木島平村　沼野　寛

観光・情報発信

～　魅力ある地域資源の発掘、コンテンツ化、情報発信による木島平ファンの獲得　～

基本情報



【年　齢】
45歳
【出身地】
千葉県
【転出元】
東京都目黒区
【前　職】
損害保険会社社員
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

趣味のトレイルランニングやクロスカントリースキーを通じて木島平村を訪れる機会が多く、応募の約3年前からは頻繁に通うようになりました。訪問を重ねるなかで、地域の方々のあたたかな人柄や豊かな自然にも触れ、次第に地域そのものに強い魅力を感じるようになりました。
そのような折に「観光を通じた地域振興」に関する募集を知り、これまでの仕事で培ってきた経験を生かしながら、地域の活性化に貢献したいと考え、応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

現在、地域の強みである特産品と自然・文化を掛け合わせたツーリズムの造成を進め、地域ブランド価値の向上に取り組んでいる。また、スポーツを基軸とした地域振興や滞在型観光の推進にも力を入れ、地域全体のブランド化を図っている。今後は、これまで民間で培ってきた経験を活かし、行政の取り組みを補完しながら、地域経済の活性化と次世代へつながる持続可能な地域づくりに貢献していきたい。

活動内容

●観光を通じた関係人口づくり

地域の特産品である国内最高峰の「木島平米」、幻の酒米とも言われる「金紋錦」で作られる日本酒、名水100選の清水で育てられる「信州サーモン」の源流を物語としてたどる「水をめぐるツーリズム」を造成。
地域の自然・歴史・文化・食を一体的に体験できる魅力的なコンテンツとして提供することで、観光誘致を推進するとともに、地域の魅力を知ってもらい、ファンを獲得することで関係人口の創出にもつなげている。



●地域特産品のブランディング化による外貨獲得

地域特産品の価値を、協力隊の強みであるヨソモノの視点から掘り起こし、生産過程のストーリーとともに都市圏の消費者へSNSなどを通じて発信することで、特産品のブランド価値の向上に取り組んでいる。
また、都市圏での展示・即売会を実施することで、ふるさと納税の拡大に寄与するとともに、地域全体のブランド価値向上も目指して取り組んでいる。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@kijimadaira.org
（電話番号（職場））0269-82-2800
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
めぐる木島平　https://kijimadaira.org/
インスタグラム　https://www.instagram.com/kijimadairaorg/

長野県中野市　栗山　早也香

観光・情報発信

～　ちょうどいい田舎信州中野PR　～

基本情報



【年　齢】
26歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
東京都港区
【前　職】
飲食店スタッフ、デザイナー
【活動時期】
R7.10～

協力隊に応募したきっかけ

きっかけは、友人が他市町村の地域おこし協力隊として活躍しているSNS発信を見ていたこと。当時から地域創生に興味がありました。そして縁があり知人づてに初めて中野市を訪れた際、地域の人にとっては当たり前の風景、名産、日常が自分にとても新鮮に映ったからです。魅力の溢れる街だからこそ自分が地域に関わり、共に中野市を創り上げていきたい、自分が感じた新鮮さを広く伝えていきたいと思い応募に至りました。

今後の抱負･任期後の目標

外から見た中野市の魅力には、地域の方々が日常の中で感じている価値とはまた違った視点があると感じます。今後は、まず中野に興味を持ってもらえるよう外の人が何に興味を持つのか収集し、丁寧に発信していくことから始めたいと考えています。地域の方々との対話を重ねながら、地域の人がおもう中野の魅力を食や暮らしなど様々な面から伝え移住に繋がるきっかけづくりを進めていきたいです。

活動内容

●食で伝える中野の魅力

東京のおばんざい屋さんで中野市の食材や地酒を使ったイベントを開催。
おばんざいやコース料理、地酒のペアリングを通して食から中野市の魅力を知ってもらうきっかけを作った。
外の人に中野市を身近に感じてもらう第一歩となった。



●市民協働フェス

中野市役所の職員の方から依頼を受け、痛車フェスで受付業務を担当。駐車場には県内外から多くの来場者が訪れ、イベントは非常に活気があり、中野市のにぎわいと地域の発信力を感じる機会となった。こうした市民・職員との協働を通して、地域の現場でのつながりづくりを進めていきたい。



●地域の人と作る交流の場

中野市にある加工施設のみなさんと一緒に、マルシェに出すパイ作りに参加。地域の方と協働しながら、食を通して中野市の魅力を形にしていく取り組みを学んだ。
今後も週1回ほどのペースで参加し、地域の方々とコミュニケーションを取る場、そして外の人の声を届ける場として関わっていきたい。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））kuriyamanakanocity@gmail.com
（電話番号（個人））080-5727-6950

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　ID：@SHINSHU_ NAKANO__KYOURYOKUTAI

長野県中野市　入江　健太

観光・情報発信

～　もっと中野市の観光をPRし隊　～

基本情報



【年　齢】
28歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
福島県楢葉町
【前　職】
会社役員
【活動時期】
R7.4～

協力隊に応募したきっかけ

これまで地域活性化事業に携わってきた中で学び得た経験や知見を活かし、中野市の更なる活性化に貢献することができると考えました。地域の活性化において観光と農業は最も重要な産業であると考えており、また両者は密接に関係しながら持続・発展していくものだと思います。これらの分野において豊富な資源を抱える中野市での地域おこし活動に取り組むことで、日本のどこにもまだない、新しい価値を創出したいと考え、応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

企画実施する事業の成果として、新たな中野市の関係人口を令和7年度中に100人、令和8年度中に1,000人、令和9年度中に10,000人増やしたいと考えています。想定する事業内容は地域おこし協力隊インターン、ゲストハウス運営、ウェルネスツーリズム造成、近隣大学連携プロジェクトなどです。任期後は自身の経営する法人で事業を継続します。

活動内容

●令和7年度中野市地域おこし協力隊インターン

令和7年9月には中野市内に14日間滞在し、人手が不足する農家等での作業に従事するインターンを実施しました。京都大学、早稲田大学、慶應義塾大学の大学生ら８名と社会人3名がインターンに参加し、うち社会人1名が10月に中野市に移住し、中野市地域おこし協力隊に着任しました。



●空き家改修･利活用

市内の旧そろばん教室「中野珠算塾」を借り上げ、床の張替えや水回りの改修等を行い、前述の地域おこし協力隊インターンの活動・滞在拠点として活用しました。今後は地域の方々を巻き込むイベントの実施やレンタルスペースとしての運用を予定しています。



●北信観光ツアー案内

中野市を中心とする北信エリアを巡るツアーへの参加を募集し、上半期で21名の方（いずれも中野市には初来訪）に中野市に滞在いただき、地域の魅力を伝えるためのオーダーメイド型のツアープランを設計、ご案内しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））irie@routesign.co.jp
（電話番号（個人））080-8300-9801

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/irie_kenta_

長野県南相木村　加藤　勝信

観光・情報発信

～　いつかここで働きたいと思っていた場所で協力隊へ挑戦　～

基本情報



【年　齢】
61歳
【出身地】
埼玉県上尾市
【転出元】
埼玉県北本市
【前　職】
グリコ北本工場
【活動時期】
R5.9～R8.9

協力隊に応募したきっかけ

昔、良く訪れていた南相木村で働きたいと思っていた。
移住を検討している段階で協力隊へ応募した

今後の抱負･任期後の目標

出来る限り、村へ貢献したいと思っているので退任後もこの業務に関わりたい。また、地区内においても地域に貢献したいと考えているので地域貢献もしたい。

活動内容

●キャンプ場の管理･運営･接客

コテージの清掃・キャンプ場施設の維持管理
サニタリーハウスの掃除・施設の維持管理
施設内における支障木伐採・フロント業務



●冬場の温泉業務

キャンプ場がオフシーズンに入ったら、村内の温泉施設にて、フロント業務・食事の提供
施設の掃除・フロント販売品の補充等



●薪割り作業

販売用の薪割り（商品化のための作業）
購入者に対する薪の配達業務



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場　役場））ijyu@vill.minamiaiki.nagano.jp
（電話番号（職場 役場））0267-78-2121

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram:t.atehara_kogen_camp

長野県原村　鈴木　若菜

観光・情報発信

～　滞在型観光の推進　～

基本情報



【年　齢】
32歳
【出身地】
東京都　多摩市
【転出元】
東京都　多摩市
【前　職】
児童福祉分野
【活動時期】
R5.4～R8.3
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

「原村に住みたい！」そんな想いから、地域おこし協力隊の募集と出会い、応募させていただきました。
原村は友人が住んでおり、会社員時代に何度も遊びに来る場所でした。私にとって原村は『心が元気になる場所』です。そんな場所の観光・情報発信のできる仕事に就けたことを嬉しく思います。

今後の抱負・任期後の目標

原村では、大自然と調和されたおしゃれな場所や心豊かで親切な人々が多く、また『より素敵な村にしたい』という強い想いの方が多くいます。
地域おこし協力隊として、もともとある原村の素敵な「ひと・場所・自然」をつなぐパイプ役となり、村の方々と協力しながら活動を進めてきました。
任期後も引き続き人口8000人みんなが幸せに過ごせるよう『福祉×観光』分野で携わられたらと思います。

活動内容

●子ども向け自然体験

隣町にある大学と連携し、自然体験を通した学びの機会を作っています。
キッズキャンプは村内のお子さんも参加OK！
親子イベントには県外からの参加も多くあるので村内外のお子さんが交流できる機会を作ることが今後の展望です。



●不登校引きこもり支援

村の方と協働で不登校引きこもり当事者とその家族へのサポート体制を構築。
住み心地良さランキング上位の原村で、人口約8000人みんなが安心して暮らせる地域づくりを目指しています！



●原村産ミントコーディアルづくり

50種類もある中で、コーディアル（シロップ）に合うミントをピックアップ！
高原で育ったミントを丁寧に手摘みをして、時間をかけて抽出しました。300本限定でしたが、村内にあるお店から近隣地域のお店まで11店舗で取り扱って下さりました。来年から製造本数増やしてECサイトも開設していきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）shokan@vill.hara.lg.jp　（電話番号）0266-79-7929

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
不登校引きこもり支援団体HP：https://heartfullvillage.studio.site/

長野県安曇野市　天沼　峻

観光・情報発信

～　カメラ片手に、長靴履いて。　～

基本情報



【年　齢】
30歳
【出身地】
東京都府中市
【転出元】
東京都府中市
【前　職】
農業従事者
【活動時期】
R7.10～R10.9

協力隊に応募したきっかけ

応募動機は大きく分けて３つあります。
・長野県の自然に魅力を感じていたこと
・生活するのにバランスの良い環境だと思ったこと
・自分自身を活かせる仕事ができると思ったこと
その３つのことから、安曇野市で楽しみながら仕事や生活をする自分の姿に臨場感が湧いたので応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

任期後は定住し、幸せな家庭を築くことに精進したいです。地域で築いた人間関係や学びは、移住を検討される方の支援として還元したい気持ちもあります。

活動内容

●さとぷろ。の活動発信

「安曇野市里山再生計画」に基づく活動「さとぷろ。」に取り組みながら、市民の認知度アップを目指す「さとぷろ。」編集部員として、里山に実際に入り、一緒に汗を流して活動する中で、猟師さんから話を聞いて知識を深めたり、森林整備の技術を学んだりと、里山での活動に必要な知識や技術を身に着けながら、日々変化する山の姿を逃さずにカメラに収めたり、自分の言葉で地域内外に発信していく仕事です。





連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kouchirinmu@city.azumino.nagano.jp
（電話番号（職場））0263-71-2432

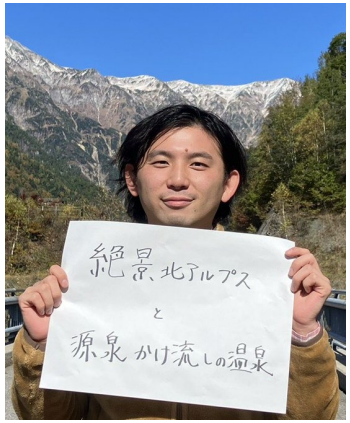
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/satopro_/

岐阜県高山市　河野　光

観光・情報発信

～　奥飛騨温泉郷の魅力をお届けします！　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
長野県安曇野市
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前　職】
CMやWEBサイト制作
【活動時期】
R6.11～R9.10

協力隊に応募したきっかけ

以前、地域おこし協力隊員の方とお会いする機会がありました。ちょうど生活を見直したいと考えていたタイミングで、自然に近い場所でゆっくり暮らしたいという思いが強くなっていた時期でもあり、とても興味が湧き、調べるようになりました。また、岐阜に知人がいたこと、温泉が好きという点が最終的な決め手となり、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

着任して1年、北アルプスの懐深くに位置し、槍・穂高連峰への登山口であり、日本最高所のバスターミナルのある乗鞍岳や上高地が隣接するなど、この地に想像以上のポテンシャルを感じています。加えて、圧倒的な温泉資源を有するこの奥飛騨温泉郷の魅力を日々感じています。関東育ちの私だからこそ、『関東の方や若い世代の方々にも伝えたい。』『初めての方が奥飛騨温泉郷に足を運んで、好きになっていただくこと』この想いを胸に、魅力の発信をしていきます。

活動内容

●奥飛騨温泉郷の魅力発見！

地域に住んでおられる皆さんが気付かない地域の魅力を見出すとともに、発信に繋がるよう取り組んでいます。
最近はドローンを活用した「新しい視点」での魅力創出にも取り組んでいます。



●奥飛騨温泉郷の四季折々の魅力を発信！

受入れ先の（一社）奥飛騨温泉郷観光協会と一緒に、山岳観光と温泉が楽しめる奥飛騨温泉郷の魅力をSNSでの発信やパンフレット制作、ホームページのリニューアルなどの通じて広く情報発信しています。
※SNSのURLは下欄にあります！



●地域イベントへの参加（地域の皆さんとの繋がりづくり）

奥飛騨温泉郷には、平湯・福地・新平湯・栃尾・新穂高という5つの温泉地があります。
それぞれの温泉で様々なイベントが開催されており、そのお手伝いや取材を通じて、たくさんの方々と知り合い、コミュニケーションを図っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
〇メールアドレス　h-kono@hidatakayama.ne.jp
〇電話番号　0578-89-2614（奥飛騨温泉郷観光協会）
【活動状況などの発信（奥飛騨温泉郷観光協会　公式SNS）】
〇Instagram　https://www.instagram.com/okuhidagram/
〇Facebook　https://www.facebook.com/okuhidaspa/

岐阜県大垣市　畠山　隆治

観光・情報発信

～　”都会に近い里山”でモビリティを活用した地域活性化の取組み　～

基本情報



【年　齢】
６２歳
【出身地】
東京都練馬区
【転出元】
東京都練馬区
【前　職】
二輪卸売業　役員
【活動時期】
R５.１０～R８.９

協力隊に応募したきっかけ

二輪卸売業に約４０年従事し、二輪車の拡販・普及・安全に努めてきたこともあり、セカンドステージは、二輪を使った地方創生をしたいと考えていたところ、都会に近い里山である上石津エリアの活性化を活動内容とした地域おこし協力隊が自分にとって最高の舞台と考え、志望させていただきました。

今後の抱負･任期後の目標

上石津地域の地域資源を活用し、地元企業や各種団体と連携しながら上石津ならではの体験・交流事業を企画立案し、関係人口及び交流人口の拡大に取り組んでいきます。
具体的には地理的背景を活かした二輪、四輪、あらゆるモビリティのユーザーに向けた民間主体のイベント誘致、商品開発を行います。
地域の皆様と共に新しい価値を生み出していきますので、よろしくお願い致します。

活動内容

●高齢運転者講習

高齢化が進行する上石津地域において、生活の足として欠かせない自動車の安全運転を目的として、地域の高齢者を対象とした運転者講習を開催。
講習では参加者の自家用車で実際に特設コース内を走行し、運転技術を確かめることにより、今後の安全運転に対する意識向上を図った。



●親子バイクチャレンジ･こども二輪塾

新たに整備した「かみいしづバイクファームキャンプ場」や、市内外のイベント会場において、50ccの子ども用バイクの運転を通じ、モーターサイクルスポーツの楽しさを体験するとともに交通教育プログラムを学ぶ教室を開催。



●安全講話･バイク乗車体験(上石津学園)

大垣市立上石津学園の６～8年生を対象とした、バイク乗車体験会を上石津学園で開催。
体験会ではプロライダーによる安全講話、バイク運転体験を通して、日常や登下校時における安全に対する意識の向上と、自助努力や非認知能力の育成を目指した。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場）） k_chiikiseisaku@city.ogaki.lg.jp
（電話番号（個人or職場）） 0584-45-3113(上石津地域事務所地域政策課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（上石津まちづくり協議会HP) http://kamiishizu.sakura.ne.jp/

静岡県伊豆の国市　HALL　NAIYA（春　奈衣耶）

観光・情報発信

～　デジタル技術を活用した地域の周遊型観光の促進　～

基本情報



【年　齢】
39歳
【出身地】
米国アラスカ州
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
営業
【活動時期】
R7.4～R10.4

協力隊に応募したきっかけ

写真やSNSを通して地域の魅力を伝えることに強い関心がありました。日本各地を訪れる中で、観光地として知られていない地域にも多くの素敵な風景や人の温かさがあると感じ、それを発信することで地域の価値を伝えたいと思うようになりました。伊豆の国市の募集内容には、「デジタル技術を活用した周遊型観光の促進」とあり、自分の得意な分野を生かして地域に貢献できると感じました。また、外国人として地域を外からの視点で見ることで、地元の方が気づきにくい魅力を発見し、国内外の人々に発信できる点にも魅力を感じ、応募を決意しました。

今後の抱負･任期後の目標

これからも、地域の方々と一緒に考えながら、伊豆の国市の魅力をより多くの人に伝えられる発信を続けていきたいです。特に、地域の日常のあたたかさや人とのつながりを感じられるような発信を工夫し、地元の方にも観光で訪れる方にも「また来たい」と思ってもらえるきっかけをつくりたいと考えています。任期後も、この地域での経験を生かして、まちづくりや観光に関わる仕事を続けていけたらと思っています。

活動内容

●地域の魅力発信（SNS･写真撮影）

伊豆長岡温泉エリアマネジメントというまちづくり会社に配置され、SNS担当としてInstagramやFacebookで発信しています。ミライ会議、お散歩市、いずなかマルシェ、さかなやステイの４つのアカウントを通して、地域の人々の活動や温泉場の魅力を紹介しています。

イベントの出店者や地域で協力してくださる方々を訪ね、撮影や取材を行い、発信につなげています。撮影の場では会話を通して地域の思いや魅力を聞き出し、それを丁寧に紹介することで、地域内外の人をつなぐことを目指しています。

また、地域おこし協力隊としてのアカウントも運営し、自分自身の視点から伊豆の国市での暮らしや日常の風景、活動を発信しています。エリアマネジメントと協力隊、それぞれの立場から発信することで、地域の魅力をより多くの人に届けることを目指しています。









連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス・職場）giaizuspa@gmail.com
（電話番号・職場）080-3274-3832

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
協力隊(個人運営)：www.instagram.com/izuno92.kyoryokutai
伊豆長岡温泉まちづくり：www.instagram.com/izuspamirai

IZUNO92.KYORYOKUTAI　IZUSPAMIRAI

静岡県伊東市　吉村　優

観光・情報発信

～　伊東の魅力を発信し、地域と人をつなぐ　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
千葉県松戸市
【転出元】
東京都世田谷区
【前　職】
ITの営業
【活動時期】
R7.7～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

伊東市で「自分の理想の宿泊施設をつくりたい」と思ったことがきっかけです。これまで東京で営業・SNS運用・観光マーケティングに携わる中で、“地域の魅力を磨き、発信し、人を呼ぶ仕組み”に強い関心を持ちました。豊かな自然と温泉文化が残る伊東市なら、宿泊を中心とした新しい観光体験を生み出せる。その構想を現実にするために、地域の現場を深く理解し、観光の基盤を支える活動をしたいと考えました。

今後の抱負･任期後の目標

任期中は、SNSや観光サイトなどの情報発信を通じて、伊東市の“日常にある魅力”をより多くの人に伝えていきたいと考えています。また、地域の方々との関わりを深めながら、観光や宿泊事業の現場を幅広く学び、伊東市での起業・宿泊施設の立ち上げにつなげていくことを目標としています。

活動内容

●観光SNS発信

Instagramを中心に、伊東市内のカフェ・グルメ・イベント・観光地などを取材・撮影し、動画や写真を通じて日々発信。地域の人にも観光客にも「行ってみたい」と感じてもらえるよう、分かりやすく魅力を伝えることを意識しています。



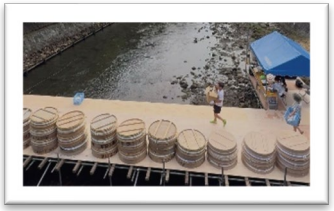
●観光サイトの発信

市内のお店やスポット、イベント情報を整理し、誰が見ても分かりやすい構成になるように工夫。
Web上からも伊東市の魅力に触れられるよう努めています。



●イベントの運営サポート

市内で開催される既定の観光イベントの準備・運営サポート・広報を担当。現場での設営や受付、SNS用素材の撮影など、実行チームの一員としてイベントの円滑な遂行に携わっています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
伊東市公式Instagram：@itouji_official

【メディア等の取材連絡先】
電話番号:070-3797-2682

静岡県川根本町　芦沢　博稔

観光・情報発信

～　ロケツーリズムに関する活動　～

基本情報



【年　齢】
35歳
【出身地】
静岡県川根本町
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
映像制作
【活動時期】
R7.1～

協力隊に応募したきっかけ

もともと大学卒業後は地元の川根本町で「地域おこし的な何か」をしたいという想いがありました。京都に移り住んでから、川根本町のことはWeb等で確認するようにしていたのですが、たまたま「ロケツーリズに関する活動」という募集を見つけ興味を惹かれ、恐る恐る応募をした結果、今に至ります。

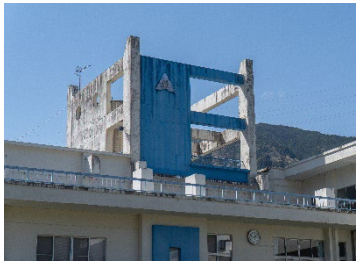
今後の抱負･任期後の目標

活動を進める中で、町内の空き家、廃校、空き地といった遊休資産の利活用には、町内外から一定の需要が見込めると確信しました。今後は、この町内遊休資産を積極的に活用した経済活動の展開を目指します。これに伴い、町内に存在する多様なスキルと経歴を有する人材が、より積極的に地域振興に参画できるような、流動性の高い組織・コミュニティを形成し、地域を活性化させる新しい取り組みを実現したいと考えております。

活動内容

●町内ロケーションハンティング（ロケハン）

町内の景観、建物など「映画」「ドラマ」「MV」等映像作品で活用できそうな場所を探します。
魅力を感じた場所は写真撮影を行い、場所の所有者、使用許諾先などを確認しリスト化。ロケ候補地マップを作成します。



●ロケ誘致からロケ対応

映像制作会社の案件内容から町内で活用できそうなロケ地を紹介しロケの提案を行います。
マッチングした場合はその後ロケ当日までの準備、ロケ地の許諾確認、スタッフの町内宿泊先や食事の手配等、各所の調整や交渉を担います。



●町内ロケ作品の紹介

町内でロケが行われた作品に関して、制作会社と情報公開範囲を協議し、町内外向けに作品の広報・宣伝等を行います。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））kagerou.studiokatz@gmail.com
（電話番号（個人or職場））080-2613-6643

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://x.com/chikiokoshi

愛知県北設楽郡東栄町　堀尾　歩見

観光・情報発信

～　自転車まちめぐり「ぽたび」×「ビューティーツーリズム」による町おこし　～

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
愛知県碧南市
【転出元】
愛知県碧南市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.4～

協力隊に応募したきっかけ

私は「協力隊になりたい」というよりも「東栄町で働きたい」という想いがあって東栄町の協力隊に応募しました。東栄町には学生の頃から頻繁に訪れており、いつしか私にとって帰ってきたくなる場所になっていました。過疎地域となっている場所ですが、私にとって東栄町は特別な場所です。そんな場所を少しでも盛り上げたい、少しでも多くの人に知ってほしいという想いがあり、クリエイティブに活動できる協力隊員としてのお仕事を希望しました。

活動内容

●自転車まちめぐり

東栄町観光まちづくり協会では、電動アシスト自転車を使ったまちめぐり案内やレンタルサイクルを行っています。坂道や細い道が多い東栄町では電動アシスト自転車がとても便利です。東栄町の歴史や自然を存分に感じられるまちめぐりはとても人気です。



●喫茶＆ドーナツ販売

観光協会内に喫茶店があり、金・土・日限定で手作りドーナツの販売もしています。おからを使用したふわふわもちもちのドーナツはお店で手作りしており、町内の子どもたちにも大変人気です。ドーナツをきっかけに観光協会に訪れるお客様も増えました。



●イベント出店

月１回以上は町内外のイベントで東栄町のPR活動を行っています。自転車まちめぐりやドーナツを使ったPRのおかげで広い年齢層に興味を持っていただいています。今後もイベント出店等を広く行っていきたいです。



今後の抱負・任期後の目標

現在は東栄町観光まちづくり協会のスタッフとして働いています。東栄町の観光窓口として、町内の方と町外の方を繋げられる働きができれば嬉しいです。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））ayumi.touei@gmail.com
（電話番号（個人or職場））0536-76-1780

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　potabi__toei

愛知県北設楽郡豊根村　澁澤　悠哉

観光・情報発信

～　カフェ付ゲストハウス兼観光案内所開業で地域と観光客をつなぐ　～

基本情報



【年　齢】
38歳
【出身地】
東京都府中市
【転出元】
静岡県伊東市
【前　職】
-キャンプ場管理人
-民間企業・環境省勤務
【活動時期】
R6.12～R9.11

協力隊に応募したきっかけ

妻の実家である愛知県への移住を検討している中で、旅行に訪れた豊根村に魅力を感じ、仕事を探していたところ村役場担当者から地域おこし協力隊制度を紹介頂いたことがきっかけ。移住を優先して既存事業者への就職を検討していたが、協力隊制度を活用すれば”自分のカフェ・宿泊施設を持ちたい”という夢の実現と飲食・観光業での地域振興を両立できる可能性を感じた。

今後の抱負･任期後の目標

村内に点在している空き家を活用して、着実に開業していきたい。まずは1戸賃貸契約を結べたので、カフェの開業を進めて早期営業開始を目指す。営業を継続するなかで村内の空き家情報を広く収集し、ゲストハウスに適した土地・集落にて宿泊施設を開きたい。
出張カフェや情報発信を継続しながら、村内の観光情報を収集し、宿泊客や観光客を地域の店舗、観光施設、体験へつなげたい。任期中に持続可能な事業基盤を整え、任期終了後も家族と豊根村で暮らしながら、地域に人と仕事の流れを生み出していきたい。

活動内容

●カフェ営業（出張含む）

地域おこし協力隊活動拠点で菓子製造業許可を取得し、焼き菓子製造とカフェを営業している。露店の飲食店営業許可を取得し、村内の茶臼山高原山頂、観光農園、ビジターセンター、温泉施設内、高齢者向けサロン、敬老会等イベントで出店し、村内外の認知度向上に向けた営業活動を実施している。



●宿泊施設候補地探し

主に地域住民からのクチコミと、役場空き家担当課の空き家バンク制度をもとに村内の空き家情報を取得しつつ、所有者の意向や立地条件を確認しながら、宿泊施設として活用できる物件を調査している。宿泊施設の開業に当たっては、近隣住民への説明と地域との共存を重視し、丁寧に合意形成を進めている。



●定住に向けた収入基盤づくり

豊根村森林組合での植林事業、村内の茶農家でのお茶狩り、既存宿泊施設での清掃業務、外国人団体観光客の通訳・案内業務などを実際に行っている。また、法面や沢内などで傾斜地の草刈りを定期実施し、将来的に村内での請負契約できるように資格取得も進めている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））
s.yuya4238+chiiki@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram・LINE公式）

LINE

COFFEE.TOYONE_YUYA.SHIBUSAWA

観光・情報発信

三重県度会町　原　洋隆

～　地域資源を活用したアウトドアコンテンツの創出　～

基本情報



【年　齢】
５０歳
【出身地】
大阪府東大阪市
【転出元】
大阪府守口市
【前　職】
介護施設管理職
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

度会町は田舎でありながら田舎すぎないところに惹かれました。自然が豊かで綺麗な川もあり、少し車で走れば買物にも不自由はなく、お伊勢さんも近い。
田舎に住みたいと思っていた僕ですが、度会町は家族で生活するには最高な場所に思えました。また、ミッションが「アウトドアコンテンツの創出」で、広義的なものでも良いと言っていただき、興味のある自給自足や山や川、林業などもコンテンツ作りに使えると考え応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

度会町は伊勢から近い田舎であるにもかかわらず、宿泊施設が少なく民泊もないので、任期中に空き家を購入して、体験民泊施設を作り、季節やニーズに応じたアウトドア・コンテンツを作っていきたいと思います。もちろん任期後も度会町に定住し、体験民泊で度会町の良さを発信しつつ、定住人口や関係人口の増加につながればと思っています。

活動内容

●地域に馴染む

まずは地域に馴染むことが大切だと思っており、現在はいろんな方とお会いしたり、イベントや地域活動などに参加したりしています。度会町はお茶の産地で、この写真はお茶工場です。工場とはいえ機械だけでなく職人の感覚が重要で、お茶作りの体験をさせてもらっているところです。



●外から来た人間だからこそ

いろんな場所に連れて行ってもらったり、自分の足で見にいったりして、その場所でなにを思い、なにを感じるのか、なにが魅力的なのか。外から来た人間だからこそ感じる「なにか」があると思うので、その感性を大切にしながら活動しています。



●わたらいセブンマウンテン

森林率が85%の度会町は、登山に適した山も豊富です。わたらいにはセブンマウンテンと呼ばれる7つの山があり、初心者でも比較的のぼりやすい山です。これらの山も活用してなにかできないか、模索中です。



連絡先

三重県度会町みらい安心課　まで
電話：0596-62-2423
Mail:mirai@town.watarai.lg.lp

三重県津市　濵本　益元

観光・情報発信

～　美杉地域情報発信担当　～

基本情報



【年　齢】
６６歳
【出身地】
愛知県知多郡
【転出元】
愛知県知多郡
【前　職】
自営業
【活動時期】
R7.９～

協力隊に応募したきっかけ

美杉の魅力に触れて「その魅力が十分に世の中に伝わっていない」つまり「豊かな自然と民俗学的伝統（観光資源）に基づく物語というポテンシャルがありながら、それらを活かしきれていない」という印象を持ち、もしかしたら私自身の発想やトライアルで、微力ながら何かができるのではないか？という想いから。

今後の抱負･任期後の目標

職員の皆様、住民の皆様の想いを受け止めながら、前例のないトライアルも含めて、ベストな施策、情報発信のカタチを模索、実施していけたら、と考えています。

活動内容

●ＳＮＳ等も活用した総合的な美杉地域の情報発信

美杉の魅力を伝えるための「物語」を再編集してポータルサイト「みすぎじかん」として発信することで、美杉地域を心から好きになってくれるファンを増やしていきたいと考えています。

みすぎじかん
URL:https://misugi-jikan.jp/



みすぎじかんリニューアルポスター

●美杉地域の魅力の掘り起こしやブランディング

ポスターひとつ、チラシひとつ、そしてサイト構築なども含め、すべてにおいて、表現の切り口、コンセプト、デザイン、コピーの内容、使う写真・映像、発表タイミング等々・・・とことんこだわって発信をしていきます。

また、発信の元になる取材にもこだわります。地域の人々と実際に話をし、その声、その想いなど、本質を浮き彫にするインタビューカにも注力して、伝え方にもこだわりたいと考えています。



JR名松線全線開業９０周年記念事業ポスター

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））Hamamoto@grandbleuworks.jp
（電話番号（個人or職場））090-2310-5215

【活動の様子を発信しているSNS・ブログ・サイトなど】
現在、取材・撮影・フィールドワークを通じて、表現素材を収集＆準備中。

三重県津市　畑　顕治

観光・情報発信

～　森林セラピー基地事業担当　～

基本情報

【年　齢】
５５歳
【出身地】
神奈川県相模原市
【転出元】
神奈川県鎌倉市
【前　職】
自営業
【活動時期】
R7.4～

協力隊に応募したきっかけ

自然と健康をテーマとした地域コミュニティづくりをライフワークとしており、自然の中で無理なく身体を動かし、人と人とのつながりを育む健康づくりに取り組んできました。

以前から津市美杉地域を訪れる機会があり、「美しい山の空気、清らかな川の流れ、動植物たちの息吹」に触れてきました。豊かな自然に囲まれた美杉地域には、都市部では得られない、人の心と身体を元気にする力があると感じています。

この地域に暮らす皆さんが、自然を通じて交流し、健やかな暮らしや生きがいにつながる時間をつくることができれば、地域の新たな魅力になるのではないかと考え、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

美杉の豊かな自然を活用し、「自然と健康」をテーマとした地域づくりを進め、津市内外から人が訪れ、地域の皆さんと交流が生まれるモデルとなる地域づくりを目指します。

津市森林セラピー基地を活用し、自然の中で誰もが安全に楽しめる健康・交流プログラムを地域の皆さんとともに育て、美杉を訪れるきっかけや、新たな交流の場を増やしていきたいと考えています。

協力隊の任期後も、美杉で育んだ人とのつながりを大切にしながら、「自然と健康」を軸としたヘルスツーリズムや健康レクリエーションなど、地域資源を活かした持続的な地域づくりに取り組んでいきたいと考えています。

活動内容

●津市森林セラピー基地運営協議会の事務局業務



津市森林セラピー基地運営協議会の事務局担当者として、基地運営に関する事務業務やイベント運営、地域との連携などを担っています。

美杉の豊かな自然環境が、地域に暮らす皆さんをはじめ、津市内外から訪れる方々にとって、心と身体を整える場となるよう、森林セラピー基地の運営を支え、地域の皆さんと協力しながら活動しています。

●津市森林セラピー基地を活用した健康づくり



森林セラピー、モルック、健康ウォーキングなど、美杉の自然を活用した健康・交流プログラムを企画し、地域内外の人々が訪れ、交流する機会づくりに取り組んでいます。

また、森林セラピー基地にある１２コースの環境整備を地域の皆さんと連携しながら継続して行い、安全に自然を楽しめる環境づくりと、美杉の魅力発信につなげています。

●地域住民の健康増進のサポート



「木を投げて、木を倒す」年齢や体力にかかわらず、誰もが気軽に楽しめる健康レクリエーションスポーツ「モルック」の普及に取り組み、地域住民の健康づくりと、多世代・地域内外の交流を促進しています。
日常の中で楽しみながら身体を動かし、人と交流できる機会を増やすことで、健康への意識向上や地域での新たなつながりづくりを進めています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人）f.revo@mac.com
（電話番号（個人）090-6474-7696

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram｜みすぎのじかん　　Facebook｜畑 顕治（KENJI HATA）

京都府京丹波町　木下　弱
～笑いで町を元気に～

観光・情報発信

基本情報



【年　齢】
４０歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
芸人（現在も）
【活動時期】
R３.8～R8.7

協力隊に応募したきっかけ

芸人である点を活かし、老若男女に愛される存在として町の広告塔として活動し、地域のお祭りや消防団等の自治活動にも積極的に参加していくため。

今後の抱負･任期後の目標

田舎暮らしの様子をSNS等で配信、各種イベントや地元ケーブルテレビにおいてのタウンプロモーション活動を実施し、特産品を活用した商品開発等も検討していく。

活動内容



●観光ツアーの開発
森の京都DMOと連携して木下弱のおすすめスポットを巡る「京丹波町バスツアー」を全5回実施。毎回満員の人気ツアーとなる。



●みんなで育てる、地域の実り
畑をお借りして野菜作りをする。苗植えイベントや収穫イベントを実施。特産品の黒枝豆の収穫イベントは毎年の恒例行事に。



●町の野菜を、町外へ　「じゃく野菜市」
町内の農家さんから野菜を仕入れて町外で販売する「じゃく野菜市」を定期的に実施。京丹波町の野菜は美味しいとリピーターになってくださっている方も。

●笑いで町に人を呼ぶ！　「じゃくふぇす」
お笑いライブを実施して町外からもたくさんの方に来てもらう。直近のお笑いライブ「じゃくふぇす」では450人以上が来場。

●地域おこし協力隊で企画　「移住者交流会」
地域おこし協力隊員と協力して、移住者と交流を深める「移住者交流会」を全3回実施。移住者だけではなく、これから移住を考えている方にも来ていただき交流を深める。

●オリジナル体操「京丹波だんない体操」をつくる
保健師とイスに座って行う体操「京丹波だんない体操」を作って、高齢者サロンをまわる。

●SNSやYouTubeで京丹波町の魅力や暮らしの様子を発信

●BSよしもとやその他のテレビ局の番組で京丹波町のおすすめスポットやおすすめグルメなどを放送

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
電話番号　0771-82-3809（京丹波町企画経営戦略室）

京都府南山城村　小橋 康之

観光・情報発信

～　観光むらづくりで暮らし続けられる村へ！　～

基本情報



【年　齢】
57歳
【出身地】
京都府
【転出元】
長崎県　波佐見町
【前　職】
地域おこし協力隊
【活動時期】
R6.12～

協力隊に応募したきっかけ

海外在住25年間の経験を日本のために役に立てないかと思い地域おこし協力隊に応募しました。外国人的な見方や経営者目線で地域活性化をしたいと考えています。
以前は、ニュージーランドでレストランを経営していた時に波佐見焼を使っていた縁で、長崎県波佐見町地域おこし協力隊として4年間従事していました。今回は実家の奈良市に近いところで地域おこし協力隊第二弾に挑戦しています。

今後の抱負･任期後の目標

観光むらづくり団体（観光協会）を設立し観光と一次産業を中心とした村づくりを進めていきたいと考えています。新たな特産物の開発を地元の方々と一緒に作っていけるよう取り組んでいます。退任後もこの南山城村に住み続け貢献していきたいです。

活動内容

●観光むらづくり団体設立準備活動

イベント企画や体験プログラムの充実を図るよう取り組んでいます。ツアー運営に必要な関係各所との調整や村のキーマンとの交流に力を入れています。



●観光×1次産業

南山城村で担い手が減少しつつある農業。観光商品の原材料ともなる農林産物の出荷者を増やすことを目的に、畑を借り地元の方や移住者を誘って野菜を一緒に作っています。米作り等でも仲間を広げ、農業に携わる方々を増やしていきます。



●特産物の開発

ニホンミツバチの養蜂を南山城村で実施、仲間を増やして「村蜂部（むらはちぶ）」を結成しました。
その他、ドラゴンフルーツの試験栽培を令和7年から始めます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）yaa3266@gmail.com （個人）
kobashi@vill.minamiyamashiro.lg.jp
（電話番号）　080-9817-6323（個人）　0743-93-0105(南山城村役場)
（インスタグラム）@minamiyamashiro.chiikiokoshi

京都府宇治田原町　西山　元太

観光・情報発信

～　お茶のまち「宇治田原町」で、緑茶発祥の地を盛り上げています　～

基本情報



【年　齢】
２３歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
接客業
【活動時期】
R6.2～ R9.1
（3年目）

協力隊に応募したきっかけ

今までの環境を変え、新しい事にチャレンジしたいという思いがありました。今しかできない経験・出会いなどが、これからの人生の中で大きな財産になると思っています。地域おこし協力隊として、地域で活動し、地域に貢献しながら、楽しく活動したいと思ったのが協力隊に応募したきっかけです。

今後の抱負･任期後の目標

３年間という期間で商品開発やイベントの運営を考えています。その中で自分がどれだけできるのか、事業をどれだけ拡大させることができるのか、３年後の自分の姿を見るのが楽しみです。
任期後も新しいことにどんどんチャレンジしていきたいです。

活動内容

●観光交流施設「宗円交遊庵やんたん」の運営支援

宇治田原町の観光交流の拠点「宗円交遊庵やんたん」の運営支援として、接客・情報発信等を担っています。今後、自分の良さを活かして、来館者へのおもてなしや地域の盛上げに貢献していきたいです。



●地域の自然を活用したイベントの開催や商品開発

「日本緑茶発祥の地」である本町の歴史・文化を活かしたイベントを年に何回か実施していきたいと考えています。今年度には、「お茶の未来EXPO」という大規模なイベントを町内で開催することが出来ました。また「がんたの焼き芋」として、焼き芋事業を開始し積極的に取り組んでおり、イベント等にも出展しています。また、昨年度には罠の狩猟免許も取得しました。積極的に様々な活動をしていきたいです。



●情報発信･観光PR

「協力隊通信」として、協力隊独自の目線で地域の情報をインスタで発信中。イベントや見どころなどの情報を収集し、宇治田原町のPRに励んでいます。また、カメラの腕を磨くため、たくさんの写真を撮りに町内を走り回っています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
〔メールアドレス〕shoukou@town.ujitawara.lg.jp
（宇治田原町まち未来創造課）
〔電話番号〕0774-88-6616（宇治田原町まち未来創造課）

奈良県吉野町　　吉井　武

観光・情報発信

～　津風呂湖の集客・活性化を行う活動　～

基本情報



【年　齢】
50歳
【出身地】
大阪府寝屋川市
【転出元】
大阪府寝屋川市
【前　職】
時間貸し駐車場運営管理
【活動時期】
R７.5～

協力隊に応募したきっかけ

吉野町の地域おこし協力隊に応募したきっかけは、数年前から桜の保全活動への参加が大きな原点です。自身にとって知らない土地ではなく、職場の仲間と年に観光でも何度も訪れてきた馴染みのある場所であり、訪れるたびにその魅力を感じてきました。 また、大阪からも近く、三重県、和歌山県との中心に位置する立地の良さや、吉野山に並ぶ多くの店舗を散策する楽しさにも強く惹かれています。また趣味である釣りの技術や、取得した資格も地域の自然資源や観光振興に生かせると考えています。 この年齢を一つの転機ととらえ、これまでの趣味を活かして地域に貢献しながら生きていこうと決意しました。吉野町の豊かな自然と人とのつながりの中で、自分の経験を活かし、新たな挑戦をしていきたいと考えています。

今後の抱負･任期後の目標

任期後の目標についてはまだ決まっておりませんが、今後は、吉野町の自然や人とのつながりの中で、自分の経験やスキルを地域のために役立てたいと考えています。特に、地域資源の活用など、吉野町で必要とされる企業、業務に積極的に関わりたいと思っています。3年後には、地域おこし協力隊としての経験を通じて、吉野町の事業や企業などで必要とされる自分の能力を発揮し、地域の一員として継続的に活躍できるようになることを目標にしています。そのために、日々の活動の中で人とのつながりを大切にし、信頼される存在を目指します。

活動内容

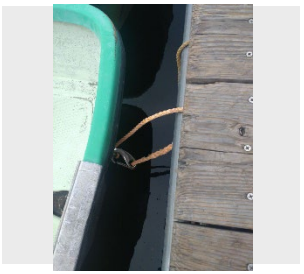
●業務効率化：イベント応募フォーム等のデジタル化

これまで紙や電話で受け付けていたイベントの応募を、Googleフォームや簡易Webサイト作成ツールなどを活用してオンライン化します。応募管理の自動化や一覧化を行い、職員の事務負担を軽減するとともに、参加者にとっても分かりやすくスムーズな申込環境を整えます。また、今後は津風呂湖イベント活動（漁業や外来種駆除等）での集計、データ収集を行い未来に繋げます。



●業務簡素化：レンタルボート係留作業の改善

イベント時レンタルボートが１００艇ほど出船、帰港する為、ロープを使って行っている係留作業を、フックやゴムロープを用いた方法に変更し、高齢スタッフでも安全かつ効率的に作業できる環境を整えました。小さな改善を積み重ねることで、現場全体の作業負担を軽減し、高齢化社会での持続的な運営体制を目指します。



●地域活性化：家族で楽しめる自然体験イベントの創出

津風呂湖周辺を親子が自然の中で笑顔になれる場所として発信します。具体的には、家族で楽しめるフィールドビンゴや自然観察会、絵画教室などの企画を行い、学びと遊びを融合させた体験型イベントを検討し、さらに津風呂湖周辺でのスタンプラリーなどを行い、釣りだけでは無く湖周辺の観光促進を検討致します。地域の方々と協力しながら、吉野町全体の賑わいづくりに貢献していきます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））tk-yoshii@outlook.jp
電話番号（職場）　　0746-32-3081

奈良県吉野町　佐藤　梅香

観光・情報発信

～　英語力を活かしてインバウンドを支える地域おこし協力隊　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
東京都江東区
【転出元】
東京都江東区
【前　職】
営業事務
【活動時期】
R７.5～

協力隊に応募したきっかけ

私は東京で生まれ育ちましたが、会社を退職後、自分の興味のある「自然」「海外」「第一次産業」について学びを深めたいと思い、国内各地を巡りました。北海道から沖縄まで、お茶農園や和紙づくり、果樹農園や酪農など、さまざまな現場に触れる中で、地域ごとの魅力や人々の暮らしの豊かさを実感しました。
その後、2022年から約3年間にわたり海外を旅し、70カ国以上を訪れました。旅先ではコーヒー農園などにも携わり、現地の人々との交流を通して、自然とともに生きる姿勢や地域資源の活かし方を学びました。海外での経験を通して、改めて日本の魅力を鮮明に感じるようになり、「水のきれいな山岳地に暮らしたい」という思いが強まりました。中でも奈良県は、自然と歴史、人の温かさが調和している場所であり、ここで海外経験を活かしながら観光を通じて来訪者に良い体験や思い出を届けたいと感じました。そのような思いから、観光資源のポテンシャルが高い吉野町に移住し、現在はインバウンド観光に携わっています。

今後の抱負･任期後の目標

今後の進路についてはまだ明確に定まっているわけではありませんが、これからも吉野町で生計を立てながら暮らしていきたいと考えています。自分がやりがいを感じられる観光や国際的な分野の仕事に携わりたいという思いがあり、今後は兼業や独立、就業など、さまざまな可能性を模索していく予定です。
吉野町での生活はまだ半年ほどですが、人とのご縁にも恵まれ、穏やかで充実した毎日を送っています。地域の方々とのつながりを大切にしながら、自分なりの形で地域に貢献していきたいと考えています

活動内容

●インバウンド観光対応範囲拡大

外国人専用窓口を開設にむけて活動中、気軽に観光情報について問い合わせすることができることに加え、ツアーの販売等も同時に行うことで販路拡大にも繋げている　GoogleMap等の情報も整理することでMEO対策にも力をいれている



●ツアー造成

自然や修験道、歴史といった吉野町ならではの地域資源を活かし、リトリートツアーやスピリチュアルツアー、地酒ツアーなどの造成を行っています。ツアーを通して、訪れる人々が心身を整えながら地域文化や自然の魅力に触れられるよう、体験型のプログラム設計を意識しています。
また、地域の事業者や宿泊施設との連携を図り、地域全体の観光価値を高めることにも力を入れています。海外経験を活かし、外国人旅行者にも吉野の深い魅力を発信できるよう、英語でのガイド対応や情報発信の充実にも取り組んでいます。



●インバウンド向け商品販路拡大

今後は、OTAサイトへの登録や運営体制を拡大し、販路拡大に力を入れていきたいと考えています。現在は「Viator」および「GetYourGuide」にてツアー販売を行っており、今後は観光案内所などで滞在中の旅行者（タビナカ層）をターゲットに、直売ツアーの販売も予定しています。
また、奈良市内から吉野町への送客を目的とした共同事業なども企画中であり、地域の観光資源を活かした新たな取り組みを進めていきたいと考えています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（個人）umeka _sato@yoshino-kankou.jp
電話番号（職場）　　0746-34-2522

和歌山県上富田町　後藤　莉子

観光・情報発信

～日本に新たな観光のカタチを創る！「ひとが観光資源の上富田」～

基本情報



【年　齢】
23歳
【出身地】
宮城県石巻市
【転出元】
宮城県石巻市
【前　職】
学生
【活動時期】
R７.４～

協力隊に応募したきっかけ

インターンシップで訪れた和歌山県紀南エリアでは、地域の方々が地域課題に真摯に向き合い、ビジネスやコミュニティの力を活かして地域振興に取り組む姿を目にしました。その姿に強く心を動かされ、自分もこの地域のために何か力になりたいと感じました。地域の魅力を生かし、人が訪れるきっかけをつくり、地域の活性化に貢献したいと考えています。また、コーディネーターとして自身の成長にもつなげていきたいと思っています。

今後の抱負・任期後の目標

新たに観光コンテンツを開発し、企業研修の受け入れを初め、様々なことに挑戦をしています。まずは、一つ一つの案件や仕事をこなしながらも、観光協会として売り上げをあげながら法人化を目指していけたらと思っています。
また、企業研修やインターンシップのコーディネートなどを通して、自己スキル向上とこの地域の振興のために尽力していければと思います。

活動内容

●海外研修受け入れ

上富田町に訪れた海外研修生のアテンド。
自身の言語能力を生かしながら、海外研修や外国人観光客の案内・アテンドを行っています。



●観光コンテンツ造成

観光協会として、稼げる観光協会を目指し活動しております。現在は、観光コンテンツの造成を地域の事業者7名と行っており、モニターツアーやプチ体験会をコアメンバーで進めながら、12月には初の企業研修受け入れに挑戦します。



●観光PR

今年は大阪関西万博が開催され、万博を初め様々なイベントで観光PRする機会をいただき、出店をしました。観光PRのみならず、物産販売も行いました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kamitonda.kankou0002@gmail.com
（電話番号（職場））0739-33-9610

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/nikoriko_g12?igsh=eDNkazR1amZmMHVv&utm_source=qr

和歌山県御坊市　渋谷　茉央

観光・情報発信

～地域の魅力を発掘・発信　SNSで観光PR！～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
大阪府　大阪市
【転出元】
大阪府　大阪市
【前　職】
学生
【活動時期】
R4.4～（3年目）

協力隊に応募したきっかけ

大学時代は、展覧会やアートプロジェクトの企画と運営、SNSを活用した広報活動を経験し、就職活動でもそのような経験と特技を生かすことができる環境を求めるようになり、移住スカウトサービスを通じて御坊市を見つけました。特技と経験が、地方にこそ需要が眠っていることと、自然が身近にある暮らしを自分もできるという可能性を感じ、応募しました。

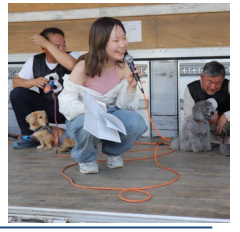
今後の抱負・任期後の目標

「地域の魅力」や「情報発信」とは何なのか追求しながら、広報活動や面白いことづくりに取り組んでいきたいです。昔から「田舎には娯楽がない」とくくられがちですが、豊かな自然や伝統といった、お金を積んでも手に入れられないような田舎の強みも、暮らし始めてから強く実感しています。「こんな娯楽がありますよ」と提示できるようなモノや人々が絡み合うコト作りをしたいです。

活動内容

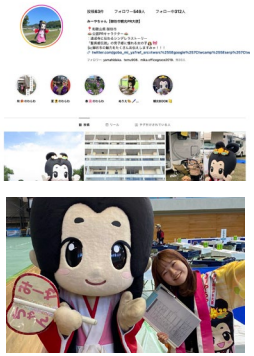
●観光資源の開発･情報発信

WEST EXPRESS銀河（JR）での車内物販ＰＲ、野口オートキャンプ場でのキャンピングカーオフ会、サイクルフェスタHUBなど各種イベントでの御坊市の物販・観光ＰＲやＳｉｏトープでの鯉の餌ガチャなどの観光体験の開発などに取り組んでいます。



●御坊市観光ＰＲ大使「みーやちゃん」のＰＲ

「宮子姫伝説」の認知度を高めるために地域の方々が作られた　ゆるキャラ「みーやちゃん」の更なる認知度の向上のため、ぬりえコンテストの実施や各種イベントでの出演等を実施しています。
その他、情報発信では、みーやちゃん公式Instagramの運営を開始し、Twitterの運営を引き継ぐなど、御坊市の情報をSNSを中心に発信しつつ、みーやちゃんの認知度向上に取り組んでいます。



●御坊市公共物にかかるモノのデザイン

今年度に新装するマンホール蓋や、市が所有する公園内のウォーキングコースにかかる道路標示、注意喚起の看板といった公共物のデザインにも取り組んでいます。



連絡先

- メールアドレス｜bm-27315@city.gobo.lg.jp
- 電話番号｜0738(23)5510
- Instagram （個人）｜ @shibutanimao
- Instagram＆Twitter 御坊市PRみーやちゃんアカウント（運営担当）｜ @gobo_mi_ya

鳥取県琴浦町　吉野　亜紀

観光・情報発信

～　アウトドア起業家養成業務　～

基本情報



【年　齢】
49歳
【出身地】
東京都江戸川区
【転出元】
東京都江戸川区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R5.9～R7.4.30

協力隊に応募したきっかけ

旅行者として訪れた琴浦町の自然に感銘を受け、その後もおてつたびを使って一向平を何度か訪れていた。将来ウィスキング（サウナの中で枝葉を使ったマッサージの技法）を提供するサービスを生業にしたいと考え、自然の中でウィスキング体験ができる環境を探していたところ、アウトドア起業家養成業務を主とする地域おこし協力隊の募集を見つけ、琴浦町の自然と掛け合わせたウィスキングを広めることができると思い応募。

任期後の目標

ウィスキングを生業として、世界及び全国各地で活動したい。琴浦町でハーバルサウナを導入する計画があるため、今後はアドバイザーとして協力しながら、イベント開催等で琴浦町と関わっていきたい。

活動内容

●ウィスキング体験

町内ではネイチャーサウナや鳴り石の浜を拠点とし、ウィスキング、ハーバルアウフグース、その他スクラブ、トリートメント、サウンドセラピー、ヘッド・ハンドスパなどのリラクゼーション体験を提供した。また、町外でもウィスキングを通して琴浦町の広報を行うプログラムを積極的に取り組んだ。



●町内向けイベント

町の方にウィスキングやハーバルアウフグースなどサウナを通しての癒やしを提供した。また、自然を使ったワークショップなどを行うことで町民の方と交流を深め、琴浦の自然を見直したり、大切にしていく意識を高められるような活動を行った。



●体験型イベント

ウィスキングリトリートほか自然体験など、町外の方にも琴浦の自然を知っていただき、自然を感じてもらえるような体験型プログラムを企画した。町内外から多くの人を琴浦町へ呼び寄せられるきっかけづくりを行った。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス・個人）akihironori@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
活動の様子は右の二次元コードをご覧ください。

鳥取県琴浦町　谷敷　友香

観光・情報発信

～　町の魅力を発信！情報発信専門員　～

基本情報



【年　齢】
３３歳
【出身地】
北海道恵庭市
【転出元】
東京都三鷹市
【前　職】
ＪＡの農畜産物直売所
【活動時期】
Ｒ４．１０～Ｒ７．９
（３年目）

協力隊に応募したきっかけ

観光で琴浦町へ訪れた際に自然豊かな環境に憧れを抱き、琴浦町への移住を決意しました。東京都有楽町で開催されていた鳥取移住フェアに参加をしたところ、当時の琴浦町地域おこし協力隊の隊員にお仕事の紹介を受け、地域おこし協力隊の活動を知りました。前職の農畜産物直売所ではＳＮＳを使用し、特産品やイベントの情報発信を行っていましたので、これまでの経験が活かせる「情報発信専門員」に応募をしました。

今後の抱負・任期後の目標

これまでの経験を活かし、町内のイベントや行事・伝統など、町民に親しみのある情報をSNSで発信していきます。
任期後の目標はまだ移住・着任して間もないので、情報発信の力を身につけながら今後の３年間の中で見付けていきたいと思っています。
卒業後も地域に根付いた活動を行っていき、琴浦町の魅力を発信していきたいと思います。

活動内容

●SNSで町の魅力発信

町民に行き届いていない行政の情報や地域のイベント情報などを、琴浦町の公式SNSを通じて発信しています。
イベントについては、事前の告知と終了後に報告を行うことで、より参加してみたいと思ってもらえる情報発信に努めています。



●東伯牛のPR動画を作成

琴浦町が自慢する「東伯和牛」の魅力を伝えるため、PR動画を作成し、YouTubeに投稿。2400回の再生回数となり、多くの方に「東伯和牛」の魅力を届けることができました。



●移住者の声を届ける　コトウラコラム～移住体験～

WEBコラム（移住体験記）で、実際に県外から移住された方たちをインタビューして経験談を紹介。コトウラ暮らしの魅力を町内外に広く発信しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メール：kikaku@town.kotoura.tottori.jp　電話番号：0858-52-1708

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(琴浦町フェイスブック)https://www.facebook.com/kotouracyou
(地域おこし協力隊フェイスブック)https://www.facebook.com/kotourachioko

鳥取県湯梨浜町　金岡　里沙

観光・情報発信

～地域とつながり、町の魅力を観光につなぐ～

基本情報



【出身地】
鳥取県鳥取市

【転出元】
神奈川県逗子市

【前　職】
パーソナルトレーナー
セラピスト

【活動時期】
R6.8～

協力隊に応募したきっかけ

「地元である鳥取県で起業したい」とUターンに関して調べている中、地域おこし協力隊の取り組みを知りました。
湯梨浜町は帰省する度訪れる町でした。
この町に住みたいと思うようになり湯梨浜町のオンライン移住相談会や、ふるさと鳥取県定住機構東京窓口の方々にも協力隊のことも教えていただき、その地域を知ること、そこで暮らしている方々と繋がることがこれからの私自身にとって更に良い経験とチャレンジになるのではないかと思い応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

湯梨浜町は調べれば調べるほど様々な分野で魅力的な情報がとても多くあります。
湯梨浜町に今ある資源の掘り起こし、また新たな観光資源の発掘や情報収集にも努め、イベント企画、観光商品開発、情報発信などしていきたいです。
県内外の方にはまた訪れたくなるような町を味わっていただくこと、地域の方には町を更に誇りに思っていただけるように、地域の方々と繋がりながら努めていきたいです。

活動内容

●観光資源の掘り起こし、着地型観光商品の開発

湯梨浜町が今持っている豊かな資源を観光事業として掘り起こし、観光振興に繋がる活動に注力しています。
また、「湯梨浜町といえばこれ！」という商品開発をしていきたいと今現在活動中です。



●観光情報の発信

個人のInstagram、湯梨浜町観光協会のInstagramを中心に写真や動画で町の魅力を配信しています。
YouTubeチャンネルの開設も視野に入れて活動しています。



●地域行事への参加

湯梨浜町に限らず、県内外で行われている行事に積極的に参加しています。
様々な土地で行われている行事に参加することが町の魅力を伝えるにあたりとても大きな経験となります。これからもアンテナを張り、裏方側、参加する側としても積極的に参加していきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】湯梨浜町役場　産業振興課
（メールアドレス）kanaokar@yurihama.jp
（電話番号）0858-35-5376

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）yurihama_hibi

鳥取県米子市　岡 俊太郎

観光・情報発信

～　食べて、歩いて、体験して。地域の魅力を全国へ　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
島根県出雲市
【転出元】
東京都板橋区
【前　職】
専門商社(営業)
【活動時期】
R5.7～R7.12

協力隊に応募したきっかけ

私は高校卒業を機に東京へ上京しており、その中で山陰両県は都会に比べ多方面で遅れをとっていると痛感し、またそれが地方を発展させたいと思うきっかけにもなりました。 米子市には素晴らしい観光資源や食文化があり、その魅力を発信し、活性化を図ることができる地域おこし協力隊になれば、その思いは実現できると考えました。 地域おこし協力隊の形で現場に飛び込み、地域の方々とともに問題解決を図りながら活性化を実現していきたいと考えており、コロナ禍で加速した情報網の発展によって、SNSでの情報発信の影響力が大きくなっている今が、米子市を発展させるチャンスだと考え、私自身がその力になりたいと思い志望しました。

今後の抱負・任期後の目標

私のミッションである米子の食文化（牛骨ラーメン・475パフェ・さばしゃぶ）をまずは米子市民の当たり前になるように情報発信し、その後は県外や国外の人へ幅広く発信することで、地域振興や観光振興に貢献していきたいと考えています。これまでの活動で培ってきた発信力や地域とのつながりを活かし、今後も山陰の魅力を多くの人に伝えられるよう取り組んでいきたいです。
任期後は、米子をはじめ山陰全体の活性化に関わる仕事を通じて、地域の新たな価値を創出し、次の世代へとつながる形で盛り上げていけるよう努めていきたいと思います。

活動内容

●食文化の情報発信

米子市の素晴らしい食文化（主に牛骨ラーメンや475パフェ、さばしゃぶ）を県内外及び国内外に認知してもらうため、それぞれのお店の特徴やこだわりを取材し、SNS等で情報発信をしています。今後は米子の食文化を通して地域振興や観光振興につながるイベントも企画、運営していきたいです。



●観光資源の情報発信

米子市には環境省が選定する「日本の海水浴場88選」にも選出された「皆生温泉海遊ビーチ」や米子市街、中海、日本海を見渡せ、年2回しか見られないダイヤモンド大山の観望会も行われる「米子城跡」など、素晴らしい観光資源があります。このような観光資源も県内外にSNS等で情報発信しています。



●イベントでの情報発信

米子市ではイベントも多く行われ、秋にある「ネギ来まつり」ではブースの一部を借りて、これまでの地域おこし協力隊での活動等を作成したパネルなどを使って宣伝し、イベント内での来場客を中心としたターゲットに向けて情報発信をしました。今年は目標を超える1.1万人のフォロワーを達成しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））chiikiokoshi.oka@gmail.com
（電話番号（職場））0859-37-2311(米子市観光協会事務局)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（米子観光ナビ）http://www.yonago-navi.jp

米子市観光協会
インスタグラム
@YONAGOKANKO.NAVI

島根県川本町　杉村　真美

観光・情報発信

観光協会スタッフ　～川本町を愛し、川本町に愛される山野草ガール～

基本情報



【年　齢】
３２歳
【出身地】
京都府宇治市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
植物園勤務
【活動時期】
R6.10～R9.9

協力隊に応募したきっかけ

・植物園で特に好きになった花が「コバイモ」
・自生地の様子を知るため応募の前年に群生地（川本町谷戸）を訪問。群生地は壮観で、現地ボランティアスタッフから維持の苦労の話を聞き、感銘を受けた。
・花々の群生の様子を全国の山野草好きの方にも伝えたいと思うようになる。
・イズモコバイモと関わる仕事を探す中で、地域おこしを知る。
・移住プログラムを通じて見学し、イズモコバイモだけでなく、町のほかのコンテンツ（音楽や女子野球）でも自身の力が発揮できると考え応募。

今後の抱負･任期後の目標

毎年3月に開催する「イズモコバイモ祭り」で山野草愛好家の間では谷戸のイズモコバイモ群生地は知られつつあるが、全体的な知名度はまだまだ。
花のある期間だけでなく、草刈りなど年間の作業を行っていることも加えて周知し、高齢化で活動が縮小しつつある地元ボランティアグループへの一助としたい。

活動内容

●イズモコバイモの普及活動等

島根県にのみ見られ数少ない群生地が川本町谷戸に存在するイズモコバイモの普及のため、缶バッジやクリアファイル等の物販品開発や販路の拡大(町内施設における常設販売スペース、ふるさと納税への追加）、ツアーの企画等を行っている。また、2026年3月開催予定のイズモコバイモ祭りの来場者数2,500人(2025年来場者数：1,700人)を目指し、フォトコンテスト企画や団体ツアーなどを検討中。



●町内の植物調査（ササユリ）

川本町にあるふれあい公園「笹遊里(ささゆり)」の名称の由来にもなったとされるササユリだが、近年は見かける機会もなく、知名度が低下。そこで、ササユリの生態や開花状況を現地調査。
結果、令和7年度においては50株程度が開花し、6月10日前後が見ごろということが判明。しかし現在の開花場所の日当たりの悪さや動物の食害も多く、今後の課題が見つかった。



●観光協会の業務

各観光サイトへ掲載する記事の作成や、町内で行われるレールバイクイベントや、島根県西部のPRイベントを行っている。また今年度から始動した女子硬式野球チームの試合時にはアナウンスや物販等幅広く活動。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））m-sugimura@kawamoto-kankou.jp
（電話番号（職場：川本町観光協会））0855-74-2345
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram（観光協会アカウント））
https://www.instagram.com/kawamotomachi.kankou/

岡山県津山市　　王　可安

観光・情報発信

～海外へ魅力発信！津山ファン創出事業～

基本情報



【年　齢】
23歳
【出身地】
台湾
【転出元】
東京都
【前　職】
大学生
【活動時期】
R7.10～

協力隊に応募したきっかけ

大学の時に、フィールドワークを行い、地域の人たちの暮らしや歴史にふれる機会がありました。そうした経験から、歴史を感じられる町に住んで、地域のために役に立つ仕事がしたいと思うようになりました。地域おこし協力隊の制度を知り、自分に合っていると思い、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今後は、他の地域で活動している外国人協力隊員とも交流し、お互いの経験や考えを共有しながら、より良い地域づくりにつなげていきたいです。また、高校生と大学生の教育旅行の形で観光を進めていきたいと考えています。地域の魅力を学びながら、若い世代同士が交流できるきっかけをつくりたいです。
任期後も、こうした活動を通して地域と人をつなぐ仕事を続けていきたいと思います。

活動内容

●ＳＮＳを活用した情報発信･収集

・インスタグラムやHPを活用し、津山市の観光コンテンツを世界へ発信
・観光PR写真の撮影、動画制作
・台湾の最新情報や流行の収集



●インバウンド対応

・ホームページやパンフレットの多言語化
・インバウンド観光客のガイド業務
・観光ボランティア育成事業としてインバウンド対応の研修講師
・地域事業者と連携した体験プログラムの造成・観光ツアー企画運営





●まちなか環境改善業務

・観光案内看板等の多言語化
・外国人の視点に立った、受入環境整備

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）alphaannwang@gmail.com
（電話番号）0868-22-3310（津山市観光協会）

【活動の様子を発信しているSNS】
Instagram: cocomitsuym

岡山県玉野市　北島 武彦

観光・情報発信

～市内に埋もれた魅力を発掘　～

基本情報



【年　齢】
55歳
【出身地】
岡山県岡山市
【転出元】
東京都大田区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.1～

協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍が終息する頃、会社を早期退職し岡山県玉野市で次の人生を歩むことを決めました。生まれ故郷である直島町に近い玉野市で、観光に携わる仕事を模索していたところ、地域おこし協力隊が募集されている事を知り応募しました。これまで30年間半導体業界でビジネスマンをしてきたので、思い切って全く違う事をやってみたいと考えていました。

今後の抱負･任期後の目標

2年間の活動を通じて玉野市観光振興に向けて取り組む方向性について観光協会内で共有する事ができ、まさにワン・チームで取り組んでいます。最終年は任期後を見据えた活動に軸足を移し、さらなるステップアップを目指します。

活動内容

●バスツアー

玉野市では古より塩づくりが盛んに行われ、現在も製塩工場があります。その歴史遺産に着目し製塩の歴史を学ぶバスツアーを考案。モニターツアーを企画実施しました。市内事業者様の協力を得る事ができ、参加された方々には大変好評でした。



●海水浴場 海の家事業

県内最大級の海水浴場、渋川海水浴場にてキッチンカーイベントを企画・実行しました。最大6台のキッチンカーが44日間、お食事や飲み物を提供します。今年は大阪での観光イベントに、市内有志が作成した動画を持ち込み、当イベントのPRをしました。



●土産物開発

「気軽に買える玉野らしいお土産」として「たまのそると」を開発。商品ネーミング・パッケージデザインを公募し、約1年かけて開発しました。2025年8月に発売を開始し、予想以上の売れ行きです。



連絡先

メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kitajima@tamanokankou.com
（電話番号（職場）　　）0863-21-3486
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）
https://www.instagram.com/tamano.chiikiokoshi.kanko/?__pwa=1

TAMANO.CHIIKIOKOSHI.KANKO

広島県福山市　伊藤　理花

観光・情報発信

～　福山市の魅力を発信　～

基本情報



【年　齢】
45歳
【出身地】
埼玉県大里郡
【転出元】
東京都目黒区
【前　職】
ファッションデザイナー
【活動時期】
R6.8～

協力隊に応募したきっかけ

服を通じ、おしゃれやトレンドをに関わる仕事をしていました。第３子が生まれたのをきっかけに子供達に地域のいいもの特に、美味しい食を残せることで自分の力を使えないかと考え、色々な地域を見て回っていました。いいものを広げる仕事がしたいことと、子供と一緒に活動できる仕事を探していたときに、福山の募集内容でぜひ活動してみたいと思ったのがきっかけです。

今後の抱負･任期後の目標

今後の抱負は、修学旅行生受け入れのできる民泊を地域で周知していき、受け入れ家庭を増やすことと、福山の魅力を県内外に発信し、広めることです。任期後の目標は、PRをするチームを福山で作って、特にSNSに特化した会社を設立し、地域にインフルエンサーを作って、地域の魅力を発信する仕組みを作り、伝える仕事ができたらと考えています。

活動内容

●福山南部地域の魅力を地図で発信

福山にある南部地域は現在開発が進んでいますが、県内の方もまだどんな魅力があるか知らないという声を聞いて、南部地域女性約10名に集まっていただき、ペニンシュラガールという団体を発足し、観光MAP「沼隈半島ぐるっとマップ」を制作しました。



●福山南部地域でSNSセミナー開催

南部地域の魅力を、地域の皆さんで発信をしていただくことで、大きな力になると思いました。そこで、２０代～６０代の方々へSNSのセミナーを開催し、少しづつ発信の楽しさを広めています。



●福山南部で活動している民泊の動画制作

福山で運営している修学旅行生受け入れ民泊の素晴らしさを県内県外に伝え、受け入れ家庭を増やす準備をしています。海外の修学旅行生もきている素晴らしい活動を福山の魅力として伝えていけるように、Yahoo!ニュースエキスパートに記事としてアップしました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））rika.yunosuke@icloud.com
（電話番号（個人or職場））0880-3499-4257
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム（福山沼隈半島ツアー企画制作）

@WELLNESS.TOURISM.FUKUYAMA

山口県美祢市　定野　愛美

観光・情報発信

～地域の宝・秋芳洞から観光産業の未来を切り拓く！
秋芳洞未公開エリアケイビングツアーガイド～

基本情報



【年　齢】
31歳
【出身地】
福岡県北九州市
【転出元】
スペイン（バルセロナ）
【前　職】
塾講師
【活動時期】
R6.10～R9.9

協力隊に応募したきっかけ

前職である塾講師を退社してスペインにワーキングホリデーで滞在していたところに、大学時代から洞窟活動でお世話になっている方から「こんな募集があるよ」と知らされ、応募することにしました。観光業やガイドは未経験でしたが、洞窟自体は大学時代から活動しているフィールドで、社会人になってからも秋芳洞へたびたび調査や取材のお手伝いとして訪れており、秋吉台周辺の魅力的な洞窟を一般の旅行客にも紹介する職業はとても魅力的に思っています。

活動内容

●ケイビングガイド

日本一の巨大空間を誇る秋芳洞の未公開エリアで行うケイビングのガイドとして、メニュー開発やプロモーションを関係団体と連携して行う。



●アクティビティセンター（仮称）の運営

令和8年4月に開業予定のアクティビティセンター（仮称）の開業準備から運営までを関係団体と連携して行う。



●アクティビティの推進

本市の既存アクティビティである『セグウェイツアー』や『トゥクトゥクレンタカー』等のプロモーションやブラッシュアップを行う。



今後の抱負･任期後の目標

他の地域では味わえない秋芳洞、秋吉台エリアならではのダイナミックな洞窟経験を時間いっぱい堪能してもらって、価格に見合った体験ができるようツアー内容もどんどんブラッシュアップさせていきたいと考えています。

任期後にも、美祢市でケイビングツアーガイドを続けていけるように基盤づくりをしていけたらいいなと考えています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kankou@city.mine.lg.jp
（電話番号）0837-52-1430
（社用携帯）080-7664-8914

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
現時点では特になし

徳島県東みよし町　岡本 芳明

観光・情報発信

～　地域密着のイベントや商品を企画して、ハイウェイオアシスに賑わいを！　～

基本情報



【年　齢】
30歳
【出身地】
奈良県生駒市
【転出元】
奈良県生駒市
【前　職】
制作会社-CM制作
【活動時期】
R7.4～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

前職ではメディア関係の仕事をしていましたが、「画面越しの仕事ではなく、人の顔が見える仕事がしたい」「自分の生活をより深く味わいたい」と思う中で、地域おこし協力隊を知り、この仕事ならば、実現できるのではと考えて、移住体験で東みよし町を訪れました。自然の近さや、人の温かさを感じ、吉野川ハイウェイオアシスではイベントなどの企画や運営にも携わることができるため、東みよし町の地域おこし協力隊に応募しました。

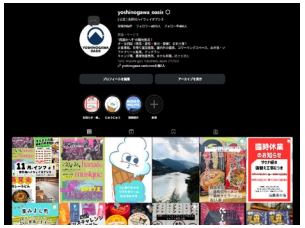
今後の抱負・任期後の目標

吉野川ハイウェイオアシスの企画・広報という仕事をとおして、四国の子ども達の挑戦できるイベント「四国キッズチャレンジコンテスト」を、年間を通じて開催しているので、より認知してもらい、たくさんの子ども達の挑戦の場にしていきたいです。
前職とは違う仕事を、と協力隊に応募しましたが、SNSやPRで地域に貢献できることが少しずつ見つかりつつあります。まだ明確な目標は定まっておりませんが、メディアを絡めた活動を考えています。

活動内容

●吉野川ハイウェイオアシスの企画・広報

Instagram/Facebook/YouTubeへの投稿、ホームページの更新。それに伴う、写真/動画の撮影、などを行っています。また地元の小中学校への出張授業や、職場体験の案内など、町内と繋がる活動も行っています。
主な投稿先：Instagram　@yoshinogawa_oasis



●イベントの企画・運営

吉野川ハイウェイオアシスの主催するイベントの出店募集や出演者への連絡、チラシの作成、学校等へのチラシの配布、イベント準備/撤収、音響操作、司会など、イベントに関わる業務を行っています。また商工会との共催のイベントでも会議から参加し、地元の事業者さんとともにイベントを運営しました。
「四国キッズチャレンジコンテスト」を年間を通して開催することで新しい価値を生み出そうとしています。



●ケーブルテレビの制作

前職の経験を活かして、地域の協力してくださる方々とともに東みよし町のイベント情報を収集し、撮影、編集、ケーブルテレビへの納品とYouTubeへのアップロードなどの活動も行っています。
撮影、編集など技術的な部分を担える人材が限られており、貢献感を感じながら、地域の情報や活動を知っていただける良い活動となっています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））okamoto@yoshinogawa-oasis.com
（電話番号（職場））0883-79-5858

（メールアドレス（個人））o.yoshiaki.00@gmail.com
（電話番号（個人））080-8537-0392

愛媛県宇和島市　内野　海

観光・情報発信

～　宇和島闘牛伝道師見習い　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
愛媛県松山市
【前　職】
空調換気設備現場監督
【活動時期】
R6.8～R9.7

協力隊に応募したきっかけ

宇和島闘牛伝道師見習いというインパクトある募集名に惹かれて応募した。
大きな土俵でガツンという鈍い音と共に1トン超えの巨大な牛が激突する光景は圧巻で、牛の闘争本能を通して熱狂する観客にも圧倒される。伊達・牛鬼・闘牛・鹿踊り・亥の子、柑橘・真珠・海賊・大竹伸朗。この泥臭く垢抜けた宇和島がとても気に入っている。

今後の抱負･任期後の目標

①県外や初見の人にも楽しんでもらえるために前説や、ぬりえ、展示ブース作成、SNSの強化などを行う。
②郷土愛育成のため、小学生の招待や、自由研究支援、WS企画などを行う。
以上2軸で活動予定。

活動内容

●闘牛場展示ブース作成

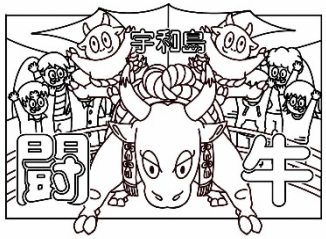
宇和島市営闘牛場の観光地としての満足度向上及び地元の子供たちへの教育施設として宇和島闘牛に関する飼育道具やエサ、歴史についての展示ブースを制作。主に廃材と、牛主さんがいらなくなった道具を回収し手作りで作成。





●宇和島闘牛ぬりえ

ぬりえは白紙と違い線画のガイドがついているためイメージがしやすく幼児も参加しやすい。10月場所にて発表、募集開始。1月場所締切、5月場所展示。と運用することでリピートを見込む。今後オープンデータ化や公募などを検討中



●闘牛大会の前説

観光闘牛（旅行会社や個人のお客様に向けた闘牛）や定期闘牛大会での歴史・文化の説明や、観客を盛り上げる煽りを担当中



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））shoko@city.uwajima.lg.jp
（電話番号（個人or職場））0895-49-7023

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）@neiye_hai

@NEIYE_HAI

高知県中土佐町　石山　佳那

観光・情報発信

～ 日本でいちばん小さい観光協会が、あなたを待っています！ ～

基本情報



【年　齢】
40歳
【出身地】
福島県須賀川市
【転出元】
福島県須賀川市
【前　職】
浪江町地域おこし協力隊
【活動時期】
R7.4～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

前職では、東日本大震災で被災した福島県の沿岸部地域のガイドをしていました。大きな災害がまだ起きていない地域でも災害を自分事に考えてほしい、今後起きるかもしれない大災害から命を守ってほしいと考えたこと、加えて自分のスキルを活かせると思ったのが応募したきっかけです。防災だけでなく、観光の業務を担えることも一つのきっかけになりました。

今後の抱負･任期後の目標

今後も多くの方に災害を他人事ではなく、いつか自分にも起きる身近なこと、自分の命は自分で守るという意識を持って生活してもらえるような活動をしていきたいと考えています。
任期後も観光協会で働きたいと思っているので、防災だけでなく観光(グルメ、体験、観光スポット巡りなど)も含めたツアーの提案や新しいお土産開発をしていきたいです。

活動内容

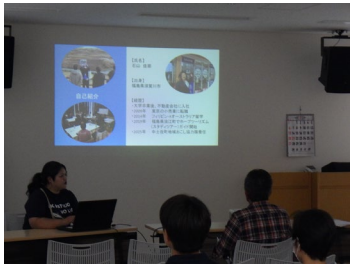
●津波避難タワー視察対応

町内の久礼地区にある津波避難タワーの視察対応を本格的に始動しました。避難タワーの説明だけでなく、東日本大震災の事例等も含めてご案内しています。
見学される方のお住まいの地域は様々ですが、自分の地域に置き換えて考えていただけるように工夫しています。



●災害について講演

浪江町で被災地ガイドをしていた経験から、自主防災組織の方々に向けて講演を行いました。
東日本大震災が起きた時の福島県の様子やその後の復興についてお話ししました。南海トラフが来ると言われている地域だからこそ、より真剣に聞いていただけたと思います。



●観光列車おもてなし

『時代の夜明けのものがたり』という観光列車でいらっしゃるお客様をお迎えしています。
お手振りや商品販売を行い、カツオの町ということを多くの方に知ってもらえるように、カツオTシャツを着用してカツオに因んだ商品を販売しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場） kana.ishiyama@outlook.jp
（電話番号（職場） ）080-4743-9517

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
中土佐町地域おこし協力隊Instagram

@NAKA.KYORYOKUTAI2025

鹿児島県曽於市　阿多　凪砂

観光・情報発信

～　曽於市の強み・新たな魅力を発信！　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
大阪府高槻市
【転出元】
大阪府高槻市
【前　職】
アルバイト(競馬場など)
【活動時期】
R７.１.27～

協力隊に応募したきっかけ

大学在学中、「うまぶ」という馬事普及サークルに在籍し、馬に関わる多様な方々との関わりを通して、馬が人の助けになることなど馬の魅力に惹かれ、将来は馬に関わる仕事に就きたいと考えていました。

両親が鹿児島県出身ということもあり、今回曽於市との縁を感じ応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

南九州畜産獣医学拠点(SKLV)を活動拠点として、農畜産業について学び、地域との交流を深めるとともに、馬を活用した地域協力活動をしたいと考えています。

また、人に対してもアニマルセラピーなどの福祉活動にも興味があるため、馬を通じて人間福祉に寄与する活動も行いたいと考えています。

活動内容

●SKLV、曽於市の情報発信

活動拠点であるSKLVで飼養する馬を活用して、曽於市の認知度向上及び人流増を目的に、SNS等を活用して曽於市の新しい魅力として広く情報を発信する。

●馬産業の浸透

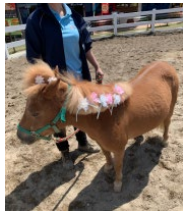
馬の活用方法を探求し、これまで地域になじみのない馬産業の浸透を図る。

●イベントの企画立案･運営

SKLVで開催するイベントを開催し、地域活性化を図る。















連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kikaku@city.soo.lg.jp
（電話番号（職場））0986-76-8802（企画政策課直通）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/sklv_soo_nagisa?igsh=MW5mdTNoamw5a2RtNw==

観光・情報発信

沖縄県与那国町　ワン　イーリン

～　地域に息づく国際交流　－ 観光×文化×心のリトリート －～

基本情報



【年　齢】
30代後半
【出身地】
台湾
【転出元】
奈良県奈良市
【前　職】
事務職、旅行コディネーター、体験施設管理者
【活動時期】
R6.07～

協力隊に応募したきっかけ

台湾の旅行会社に勤務していた時から、地域おこしや文化交流に関する活動に携わっておりました。
その頃に「地域おこし協力隊」という制度の存在を知り、いつか参加したいという思いを抱いておりました。
両親が台湾の離島出身であることもあり、私自身も地域再生や文化交流への関心を強く持っております。
その後、那覇で勤務したのち関西に転職いたしましたが、その思いを実現するために移住・定住相談会に参加しました。
ご縁があり、与那国町に赴任することとなりました。

今後の抱負･任期後の目標

与那国町観光協会に所属し、観光案内や事務業務を担当しています。
インバウンド向けに英語と繁体字の旅行案内資料を作成し、外国人観光客の利便性向上に取り組んでいます。
また、台湾絵本の読み聞かせ会や台湾フェア、料理教室などを通じて、地域住民と台湾をつなぐ文化交流活動を行っています。
異文化を知るきっかけをつくり、島民が海外からの観光客にもより親しみを持って接することができる地域づくりを目指しています。

活動内容

●島民向け台湾交流イベントを開催

与那国町は台湾・花蓮市と40年以上にわたり姉妹都市関係を結んでいます。
着任後、まず小規模な台湾フェアを開催し、当日は100名を超える来場者があり、島民の皆さんが台湾に強い関心を持っていることが分かりました。
今年はさらに、台湾・花蓮から原住民団体および台湾在住の日本人作家によるライブを開催し、延べ200名の来場者が訪れました。
その後も月1回のペースで台湾との交流イベントを継続的に実施しています。
内容は、台湾お菓子づくり教室、ヨガと台湾朝ごはんの会、台湾絵本の読み聞かせ会など多岐にわたります。
また、与那国の伝統行事と台湾の文化に共通点が多いことから、ハーリーや十五夜などの行事に合わせて台湾文化を紹介するワークショップも開催しています。





●インバウンド向け多言語資料の作成

インバウンドのお客様への対応を行うとともに、台湾および日本の旅行会社での経験を活かして、無料ツールを用い繁体字版の観光協会ウェブサイトを作成しました。
また、Googleマップを活用し、島内の飲食店などを紹介する「フードマップ」を制作することで、訪日外国人旅行者への情報発信を強化しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））wang@welcome-yonaguni.jp
（電話番号（職場））0980-87-2402
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（HP）https://yonaguninfo.wordpress.com/
（Instagram）

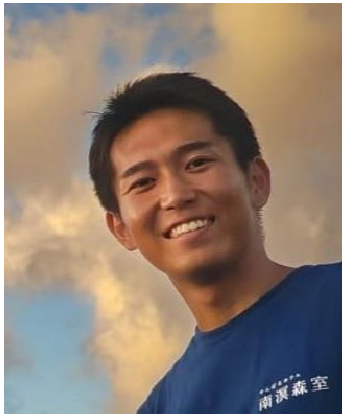
YONAGUNI.TAIWAN

沖縄県国頭村　　羽入田 健太郎

観光・情報発信

～ 訪れた人にやんばるのささやかな日常を届けたい ～

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
埼玉県
【転出元】
神奈川県藤沢市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R6.11～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

現在やんばるホテル南溟森室（なんめいしんしつ）という宿で働いています。最初は日本仕事百貨という求人サイトでこちらの宿を見つけて応募しました。その後、担当の方から、国頭村は地域おこし協力隊のインターンという3ヵ月お試し移住の制度があるとの話を伺いました。僕は、沖縄には住んでいましたが、国頭村には訪れたことがなかったため、インターン制度を設けていることが魅力的だと思い国頭村協力隊になることを決めました。

今後の抱負・任期後の目標

南溟森室は集落の中に宿があって、僕たちは「シェルパ」と呼ばれる水先案内人として訪れてくれたお客様の滞在をサポートしています。今後も集落の人、文化、歴史を大切にしながら、その魅力を伝えていく南溟森室の活動を広げていきたいです。
実は任期後は海外に行きたいと思っています！
それまでもっと国頭に馴染んで、魅力を最大限伝えられるように頑張りたいです！

活動内容

●集落散策

宿に到着したらはじめにお客様と集落内を1時間ほど散策します。一緒に散策することでアイスブレイクにもなりますし、集落の文化や歴史、魅力を各シェルパが自分の言葉で話すことで、集落をより身近に感じてもらうことを意識しています！



●朝食作り体験

かまどがある部屋では朝食で出すお米をかまどで炊きます。まだまだ毎回完璧に美味しく炊くのが難しいですが、お客様と水の分量から、薪をくべて、火をつけてと一緒に作業し炊きあがりを待つ時間はドキドキワクワクです！



●定置網漁体験

国頭村のせりは10時からと県内でも一番遅く、そこで取引される魚たちを取る体験となっています。子供も参加でき、普段食べている魚がどのようにくるのか勉強できます。他にも郷土料理作りや草編み、サバニ、ネイチャーガイドなどたくさんの人と協力しながらお客様に様々なツアーを提供しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（職場）contact@yambaru.co.jp
電話番号（職場 ）050-8884-4992
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
HP：【公式】やんばるホテル南溟森室
Instagram:@yambaruhotel_nammeishinshitsu

沖縄県八重瀬町　川口　望美

観光・情報発信

～ 八重瀬町で叶える“まちとつながるウエディング” ～

基本情報



【年　齢】
36歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
①ウエディング事業
②保育事業
【活動時期】
R4.4～R7.10

協力隊に応募したきっかけ

前職で、沖縄県内に新しいウエディングチャペルを建てるプロジェクトに携わったことがきっかけでした。
出張で何度も沖縄を訪れるうちに、この島の自然や人のあたたかさに魅了され、「いつかはここに住みたい」と思うようになりました。たまたま沖縄県の先輩隊員と出会い、地域おこし協力隊の制度を知り、応募することに♪
そしてついに、その想いを叶えて移住しました！

今後の抱負･任期後の目標

協力隊を卒業後も八重瀬町に残り、起業を予定しています。
町の豊かな自然や文化資源を活かしながら、「観光 × ウエディング」をテーマにした新しいコンテンツを発信していきたいと考えています
また、子育て世代が多い地域の特性をいかして、ベビーシッター事業など、パパママを応援する取り組みにも挑戦したいです。
「結婚」や「家族」、「地域」をつなげるハッピーな循環を、八重瀬町から広げていけたらと思っています

活動内容

八重瀬町で叶える“まちとつながるウエディング”
地域おこし協力隊として、八重瀬町の魅力を「結婚・ウエディング」を通して発信しています



公民館を舞台にした結婚式では、伝統芸能「カギヤデフー」で開幕♪食事は町内で採れた新鮮な野菜を使ったビュッフェや箱折料理をご用意。
ウエディングケーキは町の洋菓子店にオーダーし、地元の誇りでもある「泡盛」で乾杯
カメラマンやサポートスタッフも町内の方々が担当。
まちの人たちと一緒につくり上げる“ぬくもりウェディング”を新郎新婦のお二人とつくりました
※ちなみに、この時の新郎は沖縄県内の地域おこし協力隊さんです！

さらに、八重瀬町の自然や文化を舞台にしたフォトウエディングのプロデュースも行っています
海・森・サトウキビ畑・古民家…
そのすべてが、沖縄・八重瀬らしい一枚に。



町の方はもちろん、県内外のカップルにも訪れてもらえるように。
これからも結婚式やフォトを通して、八重瀬町に「人と想いがつながる瞬間」を増やしていきます

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人）nchans1002@gmail.com
（電話番号（個人）080-3109-7962
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
▼インスタグラム
https://www.instagram.com/yaese_chiikiokosi?utm_source=ig_web_button_share_sheet&igsh=ZDNlZDc0MzIxNw==

沖縄県八重瀬町　森脇　夕月

～デザインの力でまちを動かす～

観光・情報発信

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
東京都世田谷区
【前　職】
デザイナー
【活動時期】
R5.4～R7.3

協力隊に応募したきっかけ

美術の短大を卒業後、デザイン会社で３年間デザイナーとして勤務しました。ＣＤジャケットや広告のデザインを担当する中で、山梨県富士吉田市の空き家を活用した飲食店の立ち上げにも携わり、地域に関わる仕事の面白さを実感しました。その経験から「自分の好きな土地で、デザインを通して地域の魅力を伝える仕事がしたい」と思うようになり、学生時代から憧れていた沖縄で地域おこし協力隊として活動することを決意しました。

今後の抱負･任期後の目標

来年度からは、デザインや地域活動の経験を活かしながら、いつか自分の飲食店を開くという夢に向けて学びを深めていきたいと考えています。八重瀬町での暮らしを通して、ローカルの魅力や新鮮な食材に囲まれて働く楽しさを実感しました。将来的には、これまでの経験を活かして、いつか八重瀬でお店を開けたら最高だなと思っています。

活動内容

●デザイン業務の実施

観光協会が主催するイベント（サッカーキャンプ、桜まつり、マルシェイベントなど）において、ポスターやチラシのデザインを担当。併設する道の駅の館内ポップや掲示物のデザインも手がけた。





●マルシェイベントの運営

県内の人気スイーツ店を約25店舗招致したスイーツマルシェを2回開催。出店者の募集、選定から、チラシデザイン、広報、会場設営、当日の運営までを一貫して担当。第2回開催時にはイベントの様子が『沖縄タイムス』紙に掲載された。

●料理教室の運営

道の駅に併設された調理室を活用し、毎月料理教室を開催。地域の食材や道の駅で取り扱う旬の食材を使用し、主に子どもたちを対象にした食育を意識した内容。毎回20名程度の参加があり、親子連れや地域住民に好評だった。





●地域おこし協力隊物産展開催

全国12地区の地域おこし協力隊の協力を得て、各地域の特産品を集めた物産コーナーを南の駅やえせ内に設置。他地域との関わりが持ちにくいという課題から着想を得て、全国の協力隊がつながる機会を作った。

●八重瀬町×ゴジラとの切手コラボ

八重瀬町の観光資源のPRとゴジラ70周年記念を兼ねた企画。デザインを担当した。那覇中央郵便局、浦添パルコシティ郵便局など県内6か所で限定2000部で販売された。

●ツーリズムエキスポ大阪に出展

観光や商工面での地域間連携を目的とした、南城市との合同チーム「南城・八重瀬地域関連携体」として、ツーリズムEXPOジャパン大阪に出展。市町村の枠を超えた共同出典は新しい地域間連携モデルとして注目され、多くの来場者から関心を集めた。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（個人）moriwaki@yaese-kankou.com・
電話番号（個人）090-5336-0943
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】（instagram）@yaese_chiikiokosi

@YAESE_CHIIKIOKOSI

沖縄県粟国村　佐々木　克佳（ささきかつよし）

観光・情報発信

～　粟国島を新たな観光目線で盛り上げまくる？！～

基本情報



【年　　齢】
55歳
【出身地】
京都府東山区
【転出元】
京都府下京区
【前　　職】
関西電力株式会社
【活動時期】
R6.7～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

沖縄に移住しようと考え、本島周辺の離島や竹富町の島々、徳之島天城町などのオンライン説明会参加や現地を訪問するなど現実的な検討をしていました。

そんな時、SNSで「粟国村地域おこし協力隊募集」が表示されました。沖縄の離島として認識がなかった「島」だったのですが、少し調べたところ、小さな島ですが、青い海と白い砂浜があり、断崖絶壁とそこからの眺望、満点の星空があり、魅力のある島だと感じ、協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

粟国島の海や自然の素晴らしさを感じ、１日１日を丁寧に暮らす生活をしながら、粟国村の地域振興、特に観光や特産品のプロモーションで粟国島を元気にしたい。移住促進により人口減少から維持・増進に転換する取り組みにも貢献したい。これまでの職歴や地域活動での知識と経験を活かして少しでもお役にたてればと思っています。

活動内容

●観光協会

傾きかけた粟国村の観光を何とかせねばと、粟国村観光をひっぱっていくこととなりました

「１人でも多く誰でも」と無鉄砲な広報ではなく、『粟国好き』『また訪れたい』というような粟国のファンを増やす取組をとコツコツと行っています



●地域イベント

ハロウィンイベント、クリスマスイルミネーション、餅つき大会、和そば打ち体験、婚活イベント、クレープ屋さん店長一日体験など、地域を温めるためには地域住民の笑顔を広めることからと、次々と楽しいイベントを企画運営してきました



●特産品開発?!

粟国島に訪れる人の声を聞いていたところ「お土産品が少ないですね!」というコメントが痛く心に響き、それではと、島に来たお土産としてお客様に喜んでいただきたいと品物作製にも励みました
・あぐにじまジェラート、粟国島Tシャツ等



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）info@aguni-kankou.jp
（電話番号 ）098-896-5151

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】粟国村観光協会インスタ

沖縄県粟国村　山下　春香（やましたはるか）

観光・情報発信

～　１か月島生活をして…そしてそこから～

基本情報



【年　齢】
32歳
【出身地】
富山県富山市
【転出元】
兵庫県明石市
【前　職】
土産品店販売員
【活動時期】
R7.10～

協力隊に応募したきっかけ

粟国島をはじめて訪れた時に島を一周お散歩したときに風や波の音、人の暖かな空気感を心地よく感じて『住むならここがいいなぁ』と思ったのが始まりです!

今後の抱負・任期後の目標

粟国村観光協会のメンバーとして、観光業務のサポートを中心に、粟国キャンプ場の整備と集客を頑張ると共に粟国島の魅力を発信し、粟国のファンになってもらえるよう尽力してまいります!
はじめは、分からないことや至らない事が多々あるかと思いますが、地域の行事やイベント、活動などに積極的に参加しながら島民の方達に馴染んでいけるよう頑張っていこうと思っています。

活動内容

●お仕事、役割

観光協会のメンバーとして、運営に携わる
特に、粟国キャンプ場のPRおよびイベント企画などを予定その他、粟国島の魅力発信のためSNS等の活用も予定

●これからの目標

①粟国島の暮らしのリズムを感じながら、日々の挨拶や交流を通して島の人々と関係を育てていきたいです
そして徐々に島の中で生きる一人として文化や価値観を大切に受取り、活動の基盤にしたいです!

②キャンプ場の日々の運営を丁寧に行いながら、粟国島ならではの自然に触れられるようなイベントを企画・実施していきたいです
例えば、島の満天の星空を楽しむ星空観察会、自然の中で映画の楽しんでみる野外映画館など、島民・来島者がゆるやかにつながり「この場所に来てよかった」と思えるような体験の場を広げることを頑張っていきたいです

③島で出会った人々との交流などを通じて、魅力を発信し、関係人口の創出につなげ島に息づく文化・日常の美しさを言葉や写真で発信したいです来る人・関心を寄せる人の人口を少しずつ広げ、島とのつながりを育む
“循環”を目指していきたいです

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）info@aguni-kankou.jp
（電話番号 ）098-896-5151

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
粟国村観光協会インスタ